

# 持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に向けた ラベルインデックスのとりまとめ

[付録] 国内取得地域・国内取得企業一覧表

観光庁

2023年3月

---

持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に向けた  
ラベルインデックスのとりまとめ

目次

I. はじめに

II. 持続可能な観光関連ラベルインデックス

1. 観光地/観光資源

- (1) 日本版持続可能な観光ガイドライン (J S T S - D)
- (2) ① Green Destinations Top 100 Stories (TOP100)  
② Green Destinations Awards & Certification program
- (3) ① The EarthCheck Sustainable Destinations Program  
② The Leading Destinations of the World™ program
- (4) GSTC certification / ビレオ
- (5) ブルーフラッグ
- (6) グリーンフィンズ
- (7) ダークスカイプレイス・プログラム (和名：星空保護区認定制度)
- (8) ジオパーク
- (9) 世界遺産
- (10) 日本遺産
- (11) エコツーリズム推進法による認定エコツーリズム推進地域

2. 宿泊施設

- (12) GSTC certification / コントロールユニオン
- (13) GSTC certification / ビューローベリタス
- (14) GSTC certification / ビレオ (再掲)
- (15) GSTC certification / ユナイテッドサティフィケーションシステムズ
- (16) グリーンキー
- (17) Green Globe Certification
- (18) エコマークホテル
- (19) ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約
- (20) 世界観光倫理憲章

- (21) サクラクオリティ
- (22) サクラクオリティ An ESG Practice (サクラクオリティグリーン)
- (23) W E L L 認証
- (24) L E E D 認証
- (25) 観光施設における心のバリアフリー認定制度
- (26) EarthCheck Certified
- (参考) Booking.com の取組

### 3. 旅行会社

- (27) トラベライフ
- (28) GSTC certification/コントロールユニオン (再掲)
- (29) GSTC certification/ビューローベリタス (再掲)
- (30) GSTC certification/ビレオ (再掲)
- (31) GSTC certification/ユナイテッドサティフィケーションシステムズ(再掲)
- (32) 世界観光倫理憲章 (再掲)

### 4. 飲食店/レストラン

- (33) FOOD MADE GOOD
- (34) WWF サステナブル・シーフード基準
- (35) G A P 認証
- (36) 観光施設における心のバリアフリー認定制度 (再掲)

### 5. ガイド

- (37) GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism
- (38) 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーション人材

### 6. 脱炭素対策の取組

- (39) S B T
- (40) グリーナーチョイス

## Ⅲ. おわりに

[付録] 国内取得地域・国内取得企業一覧表

## I. はじめに

近年、世界の旅行者の中で、「サステナブルな旅は自身にとって重要」「今後1年間においてよりサステナブルな旅を心がけたい」(\*1)という考えは拡大している。

このような昨今の国際情勢における持続可能な観光への意識の高まりを踏まえ、今後の観光産業の発展に向けては、各旅行業者において、持続可能な観光にかかる旅行商品を販売していく必要がある。

一方、国内の観光産業に目を向けると、持続可能な観光にかかる旅行商品の造成・販売は未だ普及しているとは言えない状況にある。

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の取組が世界的に加速する中、持続可能な観光は旅行業者にとっても避ける事の出来ないテーマとなっている。持続可能な観光にかかる旅行商品を造成するためには、持続可能性に配慮された商品素材が必要であり、どのような基準で持続可能な商品素材を選択すればよいのか、という課題に直面する事が考えられる。

その際に、選択の一助となるものが「認証ラベル」である。

認証ラベルの重要性に関する大きな理由の一つは、独自の判断で自社の商品やサービス、あるいは自社そのものが持続可能であると主張するよりも、第三者機関の審査等により認められた証明を提示することで、旅行者やビジネスパートナーからの信頼を得やすい点である。

一方、過去に海外では市場において認証ラベルが乱立し、どの認証ラベルが適切なものか判断が難しい状況があった。そのため、持続可能な観光の国際的な基準を管理する団体として、国連基金などの協力のもと、2007年にGSTC (Global Sustainable Tourism Council: グローバルサステナブルツーリズム協議会) が設立された。

GSTCは、持続可能な観光の普及に向け、大きな枠組みの中での国際基準を策定し、管理する事を目的としている。すなわち、GSTCの国際基準は、多くの認証ラベルの中から適切なものを選択する際の判断基準となり得る。

本文書では、旅行業者が持続可能な観光にかかる旅行商品の造成を検討する際に、持続可能性に配慮した素材を認識するための認証ラベル等を示している。

世界的な潮流に沿う旅行商品が普及することで、国内の旅行業界活性化の一助となれば幸いである。

\*1 ブッキング・ドットコム 2022年の「サステナブル・トラベル」に関する調査結果より

「サステナブルな旅行は自身にとって重要である」世界の旅行者 81%

「今後1年間において、よりサステナブルな旅を心がけたい」世界全体の 71%

## II. 持続可能な観光に関連するラベルインデックス

本文書で取り上げている認証ラベルは、①第三者機関/団体が関与し認めている点、②国内で流通している（あるいは流通させる価値あるがあると考えられる）点の2つの要件を考慮の上、選定した認証ラベル/表彰制度、あるいは取組（宣言や公表）となる。

「観光地／観光資源」、「食事」、「宿泊施設」、「旅行会社」、「ガイド」、「脱炭素の取組」の6つのカテゴリーにおける認証ラベル及び取組（宣言や公表）を掲載しているので、持続可能な観光にかかる旅行商品を造成する際に役立ててもらいたい。

※ GSTCの国際基準に準拠しているラベルは、ラベル名を黄色のハイライトで示している。

## 1. 観光地／観光資源

持続可能な観光にかかる旅行商品の造成において、まずは、持続可能性に配慮した取組を推進している地域・資源の選定から始める事を推奨する。また、例えば将来的に旅行会社として持続可能な観光に関連した認証取得等を目指す場合においても、取り扱う旅行商品の素材における持続可能性が評価対象となるため、持続可能な観光地域との協働は重要となる。

(1)

対 象	地域	
名 称	日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)	
管理団体	観光庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	観光庁参事官 (外客受入担当) 室 TEL 03-5253-8972(直通)	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地方公共団体や観光地域づくり法人 (DMO) が持続可能な観光地マネジメントを行うことができるよう、国際基準であるG S T Cに準拠した本ガイドラインを観光庁が 2020 年に開発した。</li> <li>各地域において、本ガイドラインを取り入れ、最大限活用されることにより、効果的で持続可能な観光地マネジメントへの取組がさらに加速する事が期待される。</li> <li>以下の2つの要件で、ロゴマーク申請が可能となる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>観光計画等において J S T S - D に基づき取り組むことが明記されている。</li> <li>担当者がG S T C トレーニングプログラムを受講し、「修了証」の発行を受けている。</li> </ol> </li> <li>ロゴマーク取得後は、プロモーション等に活用する事で、S D G s などに関心の高い旅行者や移住者などを地域に呼び込むことが期待できる。(ロゴマークの使用は無料)</li> <li>海外では、持続可能性に配慮した地域、旅行商品、宿泊施設の需要がさらに高く、持続可能な観光は、今後のインバウンド政策に向けて非常に重要である。</li> </ul>	
参考 URL	日本版持続可能な観光ガイドライン： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001350849.pdf">https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001350849.pdf</a> ロゴマークについて： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000175.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000175.html</a>	

(2)

対 象	地域	 
名 称	① Green Destinations Top 100 Stories (TOP100) ② Green Destinations Awards & Certification program	
管理団体	グリーン・デスティネーションズ	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	グリーン・デスティネーションズ： <a href="mailto:contact@greendestinations.org">contact@greendestinations.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>グリーン・デスティネーションズは、2014年に設立された団体で、観光地域に対して認証を行う。GSTCが認定している第三者認証機関。</li><li>グリーン・デスティネーションズは、認証までのプロセスにおいて、段階的な表彰制度を設けており、Top100、ブロンズ賞、シルバー賞、ゴールド賞、プラチナ賞、グリーン・デスティネーションズ認証というステップとなっている。</li><li>TOP100の表彰制度は、最初のステップとして奨励されており、グリーン・デスティネーションズが策定した100項目の基準項目（Green Destinations Standard）のうち、1年目は15項目、2年目は30項目のサステナビリティチェックを行い、レポートを作成することでエントリーが可能となり、一次審査を受けることができる。二次審査では、「グッドプラクティスストーリー」という持続可能な観光の取組に関する優良事例のストーリーを提出し、そのストーリーが高い評価を受けた地域がTOP100に選出される。</li><li>各表彰・認証を獲得した地域は、グリーン・デスティネーションズによって国際的なプロモーション等の支援が受けられ、また、各国のグリーン・デスティネーションズメンバーとの情報交換やネットワーキングの機会に参加が可能となる。</li><li>他の認証機関と異なり、日本人の審査員が存在する。</li></ul>	
参考 URL	グリーン・デスティネーションズ： <a href="https://greendestinations.org/">https://greendestinations.org/</a> Green Destinations TOP100： <a href="https://greendestinations.org/programs-and-services/top-100-destinations/">https://greendestinations.org/programs-and-services/top-100-destinations/</a>	

(3)

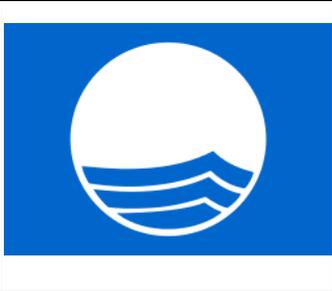
対 象	地域	
名 称	① The EarthCheck Sustainable Destinations Program ② The Leading Destinations of the World™ program	
管理団体	アースチェック	
本 部 国	オーストラリア	
連絡窓口	アースチェック : <a href="mailto:info@earthcheck.org">info@earthcheck.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アースチェックは、1987年に設立された団体で、設立当初は、オーストラリアでの調査機関として開始。GSTCが認定している地域向けプログラムを持つ第三者認証機関の中でも歴史ある団体。</li><li>・ 認証プログラムでは、シルバー、ゴールド、プラチナ、マスターのレベルを目指して長期的に取り組む制度となっている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ アースチェックのThe EarthCheck Company Standardでは、宿泊施設や旅行会社などの事業者も取り組むことのできる独自の認証プログラムを運営しているため、地域と事業者との連携に繋げやすいメリットがある。</li></ul>	
参考 URL	アースチェック : <a href="https://earthcheck.org/">https://earthcheck.org/</a> The EarthCheck Sustainable Destinations 認証プログラム : <a href="https://earthcheck.org/products-services/certification/sustainable-destinations/">https://earthcheck.org/products-services/certification/sustainable-destinations/</a> アースチェックディスティネーションスタンダード : <a href="https://earthcheck.org/wp-content/uploads/2022/12/FINAL-EarthCheck-Destination-Standard-Version-3.0-Release-January-2022.pdf">https://earthcheck.org/wp-content/uploads/2022/12/FINAL-EarthCheck-Destination-Standard-Version-3.0-Release-January-2022.pdf</a>	

(4)

対 象	地域、宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification	
管理団体	ビレオ	
本 部 国	イタリア	
連絡窓口	ビレオ : <a href="mailto:info@vireosrl.it">info@vireosrl.it</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビレオは、2006年に設立された団体で、設立当初は、F S C（森林管理協議会）などの環境認証サービスから開始した第三者認証機関。</li><li>・ G S T Cが認定している第三者認証機関の中でも唯一、観光地域向け、宿泊施設向け、旅行会社向けのすべての認証プログラムでもG S T C認定を受けている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 観光地域向けの認証から事業者向けの認証まで、幅広い範囲の認証プログラムに関して相談できることが特徴。また、F S C（森林管理協議会）認証やM S C（海洋管理協議会）認証のプログラムも運営していることから、木材、紙、水産物を扱う地域関係者の取組に資する情報を得ることも可能。</li></ul>	
参考 URL	ビレオ : <a href="https://www.vireosrl.it/en/">https://www.vireosrl.it/en/</a> GSTC Certification : <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/">https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/</a> 取得地域、事業者: <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/">https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/</a> F S C ジャパン: <a href="https://jp.fsc.org/jp-ja">https://jp.fsc.org/jp-ja</a> M S C ジャパン: <a href="https://www.msc.org/jp">https://www.msc.org/jp</a>	

※ 2. 宿泊施設、3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(5)

対 象	ビーチ／マリーナ	
名 称	ブルーフラッグ	
管理団体	F E E (Foundation for Environmental Education、国際環境教育基金)	
本 部 国	デンマーク	
連絡窓口	J A R T A : <a href="https://jarta.org/contact/">https://jarta.org/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ブルーフラッグは、世界最大規模の環境 NPO／NGO 団体である F E E が実施しているビーチやマリーナを対象とした環境認証。1987 年にプログラムが開始された。</li><li>・ 「水質」、「環境教育と情報」、「環境マネジメント」、「安全とサービス」についての基準を達成することによって与えられる。</li><li>・ ブルーフラッグは、世界のビーチ共通の「安心のしるし」として機能し、他のビーチとの差をつける上での重要な要素となる。</li><li>・ 周辺地域の関係者が関与することにより、地域の経済的側面と環境的側面を両立させる持続可能な発展につながることを期待されている。</li></ul>	
参考 URL	J A R T A ブルーフラッグ : <a href="https://jarta.org/blueflag/">https://jarta.org/blueflag/</a>	

(6)

対 象	ダイビング／シュノーケリング	
名 称	グリーンフィンズ	
管理団体	UNEP（国連環境計画）、リーフワールド財団	
本 部 国	UNEP：ケニア	
連絡窓口	THE GREEN FINS JAPAN TEAM： <a href="mailto:japan@greenfins.net">japan@greenfins.net</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>グリーンフィンズは、2004年に UNEP（国連環境計画）が開始したプログラム。サンゴ礁保全を目的としており、環境に配慮したダイビングやシュノーケリングのガイドラインの作成と、それを遵守しているダイビング・シュノーケリング事業者の評価、認定を行なっている。現在はリーフワールド財団が主導する。</li><li>事業者の認定には厳しい評価制度を設けており、導入後の効果測定なども行われている。</li><li>設立以来、14カ国で約700のダイビングショップで採用されている。</li></ul>	
参考 URL	グリーンフィンズ： <a href="https://greenfins.net/">https://greenfins.net/</a> ガイドライン日本語版： <a href="https://greenfins.net/action-centre/?_ac_language=english%2Cjapanese">https://greenfins.net/action-centre/?_ac_language=english%2Cjapanese</a> 恩納村 ダイビング・シュノーケリングガイドライン Green Fins の取組みについて： <a href="http://www.vill.onna.okinawa.jp/politics/1508724757/1610705037/">http://www.vill.onna.okinawa.jp/politics/1508724757/1610705037/</a>	

(7)

対 象	星空	 
名 称	ダークスカイプレイス・プログラム (和名：星空保護区認定制度)	
管理団体	国際ダークスカイ協会 ( I D A )	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	国際ダークスカイ協会東京支部 ( I D A 東京 ) : <a href="mailto:ochi@idatokyo.org">ochi@idatokyo.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ダークスカイプレイス・プログラム (和名：星空保護区認定制度) は、光害 (ひかりがい) の影響のない、暗い自然の夜空を保護・保存するための優れた取組を称える制度。国際ダークスカイ協会 ( I D A ) により 2001 年に開始された。</li><li>・ 認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められる。</li><li>・ 星空保護区には、ダークスカイ・コミュニティ、ダークスカイ・パーク、ダークスカイ・リザーブ、ダークスカイ・サンクチュアリ、アーバン・ナイトスカイプレイスという 5 つのカテゴリーがある。</li></ul>	
参考 URL	国際ダークスカイ協会東京支部 ( I D A 東京 ) : <a href="https://idatokyo.org/">https://idatokyo.org/</a> 星空保護区 : <a href="https://hoshizorahogoku.org/">https://hoshizorahogoku.org/</a> プログラムの本サイト (アメリカ) <a href="https://www.darksky.org/our-work/conservation/idsp/">https://www.darksky.org/our-work/conservation/idsp/</a>	

(8)

対 象	地域	  
名 称	ジオパーク	
管理団体	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、 日本ジオパーク委員会 日本ジオパークネットワーク	
本 部 国	フランス、日本	
連絡窓口	日本ジオパークネットワーク： <a href="mailto:info@geopark.jp">info@geopark.jp</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>ジオパークとは、地球科学的意義のあるサイトや景観が保護、教育、持続可能な開発のすべてを含んだ総合的な考え方によって管理された、1つにまとまったエリアです。ジオパーク（Geopark）は、地球や大地を意味する Geo と公園を意味する Park を組み合わせてできた造語で、地質・地形から地球の過去を知り、未来を考えて、活動する場所です。</li><li>日本には、日本ジオパーク委員会が認定する「日本ジオパーク」が46地域あり、そのうちの9地域は、ユネスコが認定する「ユネスコ世界ジオパーク」でもある。</li><li>ユネスコ世界ジオパークとは、ユネスコの定める基準に基づいて認定されたジオパークで、2015年に、第38回ユネスコ総会においてユネスコの正式プログラムとなっている。</li><li>ジオパークは、地球資源を持続的に利用したり、気候変動の影響を緩和したり、自然災害の影響を軽減するといった、社会が直面している重要課題への意識と理解を高めるため、その地域のあらゆる自然・文化遺産と関連した地質遺産を活用しています。地域の地質遺産の重要性について意識を高めることで、地域住民が自分たちの地域に誇りを持ち、地域の地質資源を保護しながら、ジオツーリズムや教育などに活かしています。</li></ul>	
参考 URL	日本ジオパークネットワーク： <a href="https://geopark.jp/">https://geopark.jp/</a>	

(9)

対 象	文化遺産／自然遺産	
名 称	世界遺産	
管理団体	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	日本ユネスコ協会連盟： <a href="https://www.unesco.or.jp/contact/">https://www.unesco.or.jp/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 世界遺産は、1972年にユネスコ総会で採択された世界遺産条約に基づき「世界遺産リスト」に記載された、「顕著な普遍的価値」をもつ建造物や遺跡、景観、自然のこと。世界遺産条約とは、世界の文化遺産や自然遺産を人類全体のための世界遺産として、損傷、破壊等の脅威から保護し保存していくために、国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的とした条約。</li><li>・ 世界遺産リストに記載する遺産は、1年に一度開催される世界遺産委員会で審議され、登録の可否が決定する。世界遺産委員会では「登録」、「情報照会」、「登録延期」、「不登録」の4段階の決議を行う。</li><li>・ 世界遺産は、人類が作り上げた「文化遺産」と、地球の歴史や動植物の進化を伝える「自然遺産」、その両方の価値をもつ「複合遺産」に分類される。</li></ul>	
参考 URL	世界遺産とは： <a href="https://www.unesco.or.jp/activities/isan/about-worldheritage/">https://www.unesco.or.jp/activities/isan/about-worldheritage/</a> 世界遺産検定： <a href="https://www.sekaken.jp/">https://www.sekaken.jp/</a>	

(10)

対 象	文化財	 <b>日本遺産</b> JAPAN HERITAGE
名 称	日本遺産	
管理団体	文化庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	文化庁参事官（文化観光担当）	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本遺産とは、文化庁が 2015 年に創設した認定制度。地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援するもの。</li><li>・ 世界遺産登録や文化財指定は、いずれも登録・指定される文化財（文化遺産）の価値付けを行い、保護を担保することを目的とするものであるが、一方で日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがある。</li><li>・ 「日本遺産」に認定されると、認定された当該地域の認知度が高まるとともに、今後、日本遺産を通じた様々な取組を行うことにより、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化等にも貢献し、ひいては地方創生に大いに資するものとなると考えられている。</li></ul>	
参考 URL	日本遺産ポータルサイト： <a href="http://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/">http://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/</a>	

(11)

対 象	地域	 <b>環境省</b> Ministry of the Environment  エコツーリズム Ecotourism
名 称	エコツーリズム推進法による認定エコツーリズム推進地域	
管理団体	環境省、国土交通省、農林水産省、文部科学省	
本 部 国	日本	
連絡窓口	環境省自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エコツーリズム推進法は、平成 20 年 4 月 1 日に施行された法律で、地域の自然環境の保全に配慮しつつ、地域の創意工夫を生かしたエコツーリズムを推進するに当たり、その基本理念や基本方針の策定などの必要な事項を定めることにより、エコツーリズムを通じた自然環境の保全、観光振興、地域振興、環境教育の推進を図ることを目的としたもの。</li><li>・ エコツーリズムを推進する市町村は、推進協議会を組織し、全体構想を作成することで、認定申請を行うことができる。認定審査の結果、全体構想の認定を受けた市町村は「認定エコツーリズム推進地域」となる。</li><li>・ 全体構想が認定されると以下のようなメリットがある。<ul style="list-style-type: none"><li>① これまで法的に保護措置が講じられていなかった自然観光資源を、必要に応じて特定自然観光資源として指定することで、汚損・損傷・除去及び観光旅行者に著しく迷惑を及ぼす行為の禁止、特定自然観光資源が所在する区域への立入りの制限などの保護措置を講じることができる。</li><li>② 国によって、法の基本理念に基づく、他の地域のモデルとなる取組として認められることになり、地域のブランド力が高まるとともに、国が積極的にその周知に努めることから、集客力の向上につながる事が期待される。</li><li>③ 国により、政府広報、インターネットなど各種媒体を通じて、旅行者やエコツアー事業者、旅行業界団体など各主体に対して周知が図られる。</li></ul></li></ul>	
参考 URL	エコツーリズムのススメ（環境省）： <a href="https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/index.html">https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/index.html</a>	

## 2. 宿泊施設

環境など持続可能性に配慮した宿泊施設を選択したい旅行者が増加傾向にあるため、宿泊施設の認証ラベルを把握の上、適切な選定を行い、加えて、その宿泊施設に関する持続可能性の情報を旅行者に提供する事が重要となる。

(12)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification	
管理団体	コントロールユニオン	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	㈱Control Union Japan <a href="https://certifications.controlunion.com/ja">https://certifications.controlunion.com/ja</a> 担当 大村、佐田 <a href="mailto:infojp@controlunion.com">infojp@controlunion.com</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1920年に設立した団体で、2002年に認証プログラムを開始した第三者認証機関。日本を含む世界70カ国に事務所がある。</li> <li>・ 様々な分野の認証プログラムを多く保持しており、旅行会社及び宿泊施設向けの認証プログラムは、GSTC認定のものとなっている。認証取得により、GSTCのC o Cロゴの使用も可能となる(※1)。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li> <li>・ 認証機関として長い歴史を持つ団体で、食材や資材などの持続可能な調達に関わる認証プログラムも多く運用しているため、サプライチェーン全体における認証プログラムに関する情報を得られることが特徴。</li> </ul>	
参考 URL	コントロールユニオン： <a href="https://certifications.controlunion.com/ja">https://certifications.controlunion.com/ja</a> GSTC認証プログラム： <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc</a> その他の認証プログラム： <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs</a> ※1 C o C (Chain of Custody) 管理ナンバーのついたGSTCロゴ： <a href="https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/">https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/</a>	

※ 3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(13)

対 象	宿泊施設、旅行会社	 
名 称	GSTC Certification	
管理団体	ビューローベリタス	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	Bureau Veritas CHINA <a href="https://www.bureauveritas.cn/en/contact-us">https://www.bureauveritas.cn/en/contact-us</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビューローベリタスは、1828年にフランス船級協会として設立された団体で、現在は世界最大級の第三者試験・検査・認証機関として「信頼・責任・志と謙虚さ・柔軟さと包容」を価値とし、「品質・健康・安全・環境および社会的責任」の分野で、あらゆる産業・事業・組織の信頼性向上を支える事業を展開している。グループは、世界中に1,500以上のオフィスと研究所に78,000人以上の従業員を擁している。</li><li>・ 2020年4月に、ビューローベリタスグループのビューローベリタス香港が、GSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>・ ビューローベリタスの認証プロセスは、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>① 認証範囲の定義</li><li>② 事前監査 (オプション) : 規格に対する現状のギャップ分析・診断</li><li>③ 2段階の認証審査<ul style="list-style-type: none"><li>第1段階 : 組織の認証取得準備についての確認を行う準備審査</li><li>第2段階 : 組織のマネジメントシステムの有効性を含む実施状況の評価</li></ul></li><li>④ 2段階の審査結果が良好な場合、3年間有効な認証を発行</li><li>⑤ 3年後に再認証のための審査</li></ul></li></ul>	
参考 URL	ビューローベリタス : <a href="https://group.bureauveritas.com/">https://group.bureauveritas.com/</a> GSTC Sustainable Tourism Certification (ビューローベリタス香港) : <a href="https://www.bureauveritas.cn/en/our-services/certification/sustainability-management">https://www.bureauveritas.cn/en/our-services/certification/sustainability-management</a>	

※ 3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(14)

対 象	地域、宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	ビレオ	
本 部 国	イタリア	
連絡窓口	ビレオ : <a href="mailto:info@vireosrl.it">info@vireosrl.it</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビレオは、2006年に設立された団体で、設立当初は、F S C (森林管理協議会) などの環境認証サービスから開始した第三者認証機関。</li><li>・ G S T C が認定している第三者認証機関の中でも唯一、観光地域向け、宿泊施設向け、旅行会社向けのすべての認証プログラムでもG S T C 認定を受けている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 観光地域向けの認証から事業者向けの認証まで、幅広い範囲の認証プログラムに関して相談できることが特徴。また、F S C (森林管理協議会) 認証やM S C (海洋管理協議会) 認証のプログラムも運営していることから、木材、紙、水産物を扱う地域関係者の取組に資する情報を得ることも可能。</li></ul>	
参考 URL	ビレオ : <a href="https://www.vireosrl.it/en/">https://www.vireosrl.it/en/</a> GSTC Certification : <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/">https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/</a> 取得地域、事業者: <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/">https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/</a> F S C ジャパン: <a href="https://jp.fsc.org/jp-ja">https://jp.fsc.org/jp-ja</a> M S C ジャパン: <a href="https://www.msc.org/jp">https://www.msc.org/jp</a>	

※ 1. 観光地／観光資源、3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(15)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC certification	
管理団体	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ	
本 部 国	キプロス	
連絡窓口	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : <a href="mailto:cert@ucsl.eu">cert@ucsl.eu</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>ユナイテッドサティフィケーションシステムズ（以下、UCSL）は、2017年にキプロスで設立された団体で、東西ヨーロッパ、ロシア、中東、インド、中国で活動する独立した国際認証機関。サステナビリティ分野で豊富な経験を持つ100人以上の専門家が所属している。</li><li>2020年6月に、UCSLはGSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>UCSLは、3段階のサイズに応じた認証プログラムを有しており、サイズは以下の通りとなっている。<ol style="list-style-type: none"><li>① シングル認証（1つの宿泊施設やツアーオペレーター）</li><li>② マルチサイト認証（異なる場所に複数施設を持つ宿泊施設のチェーンや、同じ観光地の異なる場所で活動するツアーオペレーターなど）</li><li>③ グループ認証（1つの観光地における宿泊施設／ツアーオペレーターのグループ、または、異なる所有者の小規模な独立した宿泊施設のグループなど）</li></ol></li><li>現在、GSTCの認証プログラムの他、海洋（ASC、MSC）、持続可能な企業システム（GSES）の認証サービスを提供しており、バイオ燃料、水、金属など他の分野への参画も進めている。</li></ul>	
参考 URL	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : <a href="https://ucsl.eu/">https://ucsl.eu/</a> GSTC 認証プログラム : <a href="https://ucsl.eu/gstc">https://ucsl.eu/gstc</a>	

※ 3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(16)

対 象	宿泊施設	
名 称	グリーンキー	
管理団体	F E E (Foundation for Environmental Education、国際環境教育基金)	
本 部 国	デンマーク	
連絡窓口	J A R T A : <a href="https://jarta.org/contact/">https://jarta.org/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1994年にデンマークで観光関連の協議会によって設立された団体で、現在は非営利団体であるF E E (環境教育基金)によって運営されている。</li><li>・ グリーンキーには、宿泊施設向けの認証プログラムはないが、表彰プログラムがあり、表彰プログラムで使用されている宿泊施設向け基準は、G S T Cの基準に準拠している。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 宿泊施設向け以外にもアトラクション、レストラン、国際会議向けなど様々なプログラムを有しており、全てを合わせると、計60カ国、3,700の観光関連施設に対してラベルを付与している。</li><li>・ ラベルを取得すると、グリーンキーマップに施設名が掲載され、グリーンキーと提携しているオンライントラベルエージェントのウェブサイトにも掲載される。</li></ul>	
参考 URL	グリーンキープログラム : <a href="https://www.greenkey.global/our-programme">https://www.greenkey.global/our-programme</a> 国内の認定宿泊施設 : <a href="https://jarta.org/greenkeyecolavel/">https://jarta.org/greenkeyecolavel/</a>	

(17)

対 象	宿泊施設	
名 称	Green Globe Certification	
管理団体	グリーングローブ	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	<a href="https://www.greenglobe.com/contact-us">https://www.greenglobe.com/contact-us</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1990年代に設立された歴史のある団体で、オーストラリアの研究機関と連携し、1998年に独自に持続可能な観光基準を設立した。</li><li>・ グリーングローブのプログラムで使用されている宿泊施設向け基準は、GSTCの基準に準拠している。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 宿泊施設向け以外にもアトラクション、レストラン、国際会議向けなど様々なプログラムを運営しており、80カ国以上で取り組まれている。</li><li>・ 認証取得により、水とエネルギーの使用量が10%削減でき、7.5%の顧客満足度の上昇と認証取得へ取り組むことによるスタッフの満足度が7%改善された、といった統計が発表されている。</li><li>・ 認証取得後は、グリーングローブのメンバーマップに施設名が掲載される</li><li>・ メンバー、5年でゴールドメンバー、10年でプラチナムメンバーとなる。</li></ul>	
参考 URL	認証プログラム： <a href="https://www.greenglobe.com/green-globe-certification/">https://www.greenglobe.com/green-globe-certification/</a> アジア太平洋メンバー： <a href="https://www.greenglobe.com/asia-pacific-indian-ocean-members">https://www.greenglobe.com/asia-pacific-indian-ocean-members</a> クラブメッド カビラ記事： <a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000033.000041509.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000033.000041509.html</a>	

(18)

対 象	宿泊施設	
名 称	エコマーク認定「ホテル・旅館」	
管理団体	公益財団法人 日本環境協会	
本 部 国	日本	
連絡窓口	エコマーク事務局 <a href="mailto:info@ecomark.jp">info@ecomark.jp</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ホテルや旅館でエコマークの認定を取得するには、定められた認定基準を満たすことが要件となる。認定基準を満たした上で認定審査の申込を行い、審査委員会での認定を受けることで、施設にエコマークを表示することができる。</li><li>・ 審査料：44000 円（税込）</li><li>・ エコマーク表示費用：1～9 施設 1 施設目：33,000 円 +2 施設目以降：1 施設毎に 22,000 円加算 それ以上は、下記参考 URL を参照のこと</li><li>・ エコマーク「ホテル・旅館」認定基準は、ホテルや旅館における省エネ・節水・廃棄物削減などの基本的な環境対策に加えて、宿泊施設の環境活動への利用者の理解を深め、宿泊を通して環境配慮への気づきを与える環境コミュニケーションなどを評価している。</li></ul>	
参考 URL	認定プログラム： <a href="https://www.ecomark.jp/service/hotel/">https://www.ecomark.jp/service/hotel/</a> 認定基準： <a href="https://www.ecomark.jp/service/pdf/503V2_a.pdf">https://www.ecomark.jp/service/pdf/503V2_a.pdf</a> 認定ホテル一覧： <a href="https://www.ecomark.jp/service/hotel/list/">https://www.ecomark.jp/service/hotel/list/</a>	

(19)

対 象	宿泊施設	
名 称	ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約	
管理団体	エクスペディアグループ、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	エクスペディア広報事務局： <a href="mailto:rmizutani@aviareps.com">rmizutani@aviareps.com</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019年に始まったホテルの持続可能な取組を促す「サステナブルツーリズムの誓約」。オンラインツアーエージェントのエクスペディアグループ、ユネスコ、タイ国政府観光局との共同パートナーシップで始まった活動で、現在はアコーホテルズも参画している。</li><li>・ 誓約内容は、使い捨てプラスチック製品の削減や廃止を促した①環境面の改善、②経済的・社会的な開発、③責任ある旅行者の促進、④災害からの回復の4つの分野が含まれている。</li><li>・ 誓約した計画の内容などは、毎年見直しが必須で、翌年の計画目標も測定しやすく、達成できるものである必要がある。そのため、将来的に認証に取り組むホテルには良い事前練習となる。</li><li>・ 2022年「グリーンキー」も参加し、署名する宿泊施設の数が増え、6000軒を超えた。</li><li>・ 特に、エクスペディアにデータが紐づいている宿泊先は、今後のコミュニケーション拡大の可能性が期待される。</li></ul>	
参考 URL	ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約： <a href="https://unescosustainable.travel/">https://unescosustainable.travel/</a> 誓約申請のページ： <a href="https://unescosustainable.travel/en/sign-the-unesco-sustainable-travel-pledge">https://unescosustainable.travel/en/sign-the-unesco-sustainable-travel-pledge</a> 参考記事①： <a href="https://livhub.jp/news/expedia-accor-unesco.html">https://livhub.jp/news/expedia-accor-unesco.html</a> 参考記事②： <a href="https://ecotourism-world.com/jp/what-is-the-unesco-sustainable-travel-pledge/">https://ecotourism-world.com/jp/what-is-the-unesco-sustainable-travel-pledge/</a> 参考記事③： <a href="https://livhub.jp/news/sustainability/greenkey-unescosustainable-travel-220204.html">https://livhub.jp/news/sustainability/greenkey-unescosustainable-travel-220204.html</a> ホテルの取組事例： <a href="https://unescosustainable.travel/en/resources">https://unescosustainable.travel/en/resources</a>	

(20)

対 象	宿泊施設、旅行会社 等	
名 称	世界観光倫理憲章	
管理団体	国連世界観光機関 (UNWTO)	
連絡窓口	国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所： <a href="https://unwto-ap.org/inquiry/">https://unwto-ap.org/inquiry/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1999年10月の第13回UNWTO総会(チリ・サンティアゴ)において、全加盟国により受入れられたもの。環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしなが、観光の発展を最大限に引き出すことを目的とし、各国政府、観光業界、地域社会、旅行者等の全てのステークホルダーが、責任ある持続可能な観光を実現するための規範としている。</li><li>・ UNWTOでは2011年からは、世界観光倫理憲章の普及促進のために、民間部門による世界観光倫理憲章への誓約を促進している。</li><li>・ 民間企業・団体がこのコミットメントに署名をすることで、それぞれの企業・団体が企業の社会的責任(CSR)を通じて、持続可能な観光開発を実践し、促進することを目的としている。</li></ul> <p><b>【世界観光倫理憲章の構成】</b></p> <p>第1条 人間と社会間の相互理解と敬意への観光の貢献 第2条 個人と集団の充足感を得る手段としての観光 第3条 観光：持続可能な開発の要素 第4条 観光：人類の文化遺産の利用とその価値を増進させる貢献 第5条 観光：受入国及び受入側地域社会に役立つ活動 第6条 観光開発の利害関係者の義務 第7条 観光をする権利 第8条 観光客の行動の自由 第9条 観光産業における労働者と事業者の権利 第10条 世界観光倫理憲章の原則の実施</p>	
参考 URL	世界観光倫理憲章： <a href="https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/">https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/</a>	

(21)

対 象	宿泊施設	
名 称	サクラクオリティ	
管理団体	一般社団法人観光品質認証協会	
本 部 国	日本	
連絡窓口	一般社団法人観光品質認証協会 <a href="https://www.sakuraquality.com/contact">https://www.sakuraquality.com/contact</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サクラクオリティは、ホテルや旅館等の宿泊施設を中心とした品質認証制度。申請のあった宿泊施設などの観光サービスの品質を第三者が評価し、その品質の高さを認証する仕組み。2009年より実証研究が行われ、2018年に現在の管理団体によりプロジェクトがスタートしている。</li><li>・ サクラクオリティは1サクラ、1＋サクラ、2サクラ、2＋サクラ、3サクラの5段階に分けられるフェーズⅠと、3＋サクラ、4サクラ、5サクラ、ジャパンダイヤモンドの4段階に分けられるフェーズⅡの合計9段階ある。</li><li>・ また、アワード委員会（有識者メンバー）を設置し、審査員による2,000項目の調査を実施した施設に対して、多角的視点により検討を行い、アワードを決定。結果を「サクラクオリティアワード」として公表している。</li><li>・ 旅行者が必要とする質の高い観光サービスに関する情報を発信することにより、旅行者にとってサービス選択の幅が広がるだけでなく、サービスを提供する事業者にとっても、サービスレベルの維持・向上のツールとして活用できる。</li></ul>	
参考 URL	サクラクオリティ： <a href="https://www.sakuraquality.com/">https://www.sakuraquality.com/</a> サクラクオリティ認証施設一覧： <a href="https://www.sakurastay.com/stay">https://www.sakurastay.com/stay</a>	

(22)

対 象	宿泊施設	
名 称	サクラクオリティ An ESG Practice	
管理団体	一般社団法人観光品質認証協会	
本 部 国	日本	
連絡窓口	一般社団法人観光品質認証協会 <a href="https://www.sakuraquality.com/contact">https://www.sakuraquality.com/contact</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サクラクオリティ An ESG Practice 認証基準は、国際的に求められる SDGs の取組を実践する宿泊施設に対して認証する基準であり、「安心・安全・誠実」を保証する品質認証制度「サクラクオリティ認証」を取得する宿泊施設が取得の対象となる。</li><li>・ GSTC より基準の承認を受けており、基準に満たした宿泊施設は An ESG Practice 第三者委員会より認証される。</li><li>・ 1 御衣黄ザクラ (Practicing)、2 御衣黄ザクラ (Excellent)、3 御衣黄ザクラ (Restorative)、4 御衣黄ザクラ (Regenerative)、5 御衣黄ザクラ (Leaders in carbon neutrality) と5段階ある。</li><li>・ 国際規格として、世界へアピールでき、宿泊施設の SDGs の取組レベルの情報を世界へ発信できるなどの利点がある。</li></ul>	
参考 URL	サクラクオリティ : <a href="https://www.sakuraquality.com/">https://www.sakuraquality.com/</a> サクラクオリティ An ESG Practice 認証取得施設一覧 : <a href="https://www.sakurastay.com/stay">https://www.sakurastay.com/stay</a> サクラクオリティ An ESG Practice 関連記事 : <a href="https://www.sakuraquality.com/archives/news/2140">https://www.sakuraquality.com/archives/news/2140</a>	

(23)

対 象	宿泊施設	
名 称	WELL 認証	
管理団体	International WELL Building Institute ( I W B I )	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	一般社団法人グリーンビルディングジャパン ( G B J ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/well/well-consultant-company/">https://www.gbj.or.jp/well/well-consultant-company/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>WELL Building Standard®は、人々の健康とウェルネスに焦点を合わせたビルト・エンバイロメント（建築や街区の環境）の性能評価システム。2014年に米国で認証制度がスタートしている。</li><li>人の健康とウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好であること）に影響を与えるさまざまな機能をパフォーマンススペースで測定・評価・認証する。設計、建設、運用のベストプラクティスと、エビデンスに基づいた医学的および科学的研究を組み合わせ、人の健康とウェルビーイングをサポートする建築や街区の環境を評価する。</li><li>評価項目は、より良い建物を通じて人の健康をサポートし、向上させるための10のコンセプト（空気、水、食物、光、運動、温熱快適性、音、材料、こころ、コミュニティ）で構成されている。</li><li>WELL 認証を受けるためには、全ての必須項目を満たし、必要な数の加点項目を取得することが必要。点数が多いと認証レベルが高くなる。</li><li>健康的な経営や働き方改革等を目指すプロジェクトにとっては、その目指すべき方向性や達成度をグローバルな指標で評価できることから、大きな関心が集まっている。</li></ul>	
参考 URL	一般社団法人グリーンビルディングジャパン ( G B J ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/">https://www.gbj.or.jp/</a> WELL とは : <a href="https://www.gbj.or.jp/well/about_well/">https://www.gbj.or.jp/well/about_well/</a> 日本の WELL 認証プロジェクトリスト : <a href="https://www.gbj.or.jp/well/about_well/certified-projects/">https://www.gbj.or.jp/well/about_well/certified-projects/</a>	

(24)

対 象	宿泊施設	
名 称	LEED認証	
管理団体	USGBC (U.S. Green Building Council)	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	一般社団法人グリーンビルディングジャパン (GBJ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/leed/leed-consultant-company/">https://www.gbj.or.jp/leed/leed-consultant-company/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>LEEDは、非営利団体USGBCが開発・運用し、GBCI (Green Business Certification Inc.) が認証の審査を行っている、ビルト・エンバイロメント(建築や都市の環境)の環境性能評価システム。</li><li>最高クラスのビルト・エンバイロメントを作るための戦略やその実現手段を評価するグリーンビルディングの認証プログラムであり、LEED認証を受けるためには、グリーンビルディングとして備えるべきいくつかの必須条件を満たし、選択項目のポイントを選んで取得することが必要となる。</li><li>LEEDは、コストや資源の削減を進めながら、人々の健康に良い影響を与え得ることに配慮し、また、再生可能なクリーンエネルギーを促進している建築物の認証を行っている。</li><li>LEED認証を受けているテナントビルは、より早くテナントが集まる傾向や、税制や都市計画上で優遇措置などの事例がある(米国の例)。</li></ul>	
参考 URL	一般社団法人グリーンビルディングジャパン (GBJ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/">https://www.gbj.or.jp/</a> LEEDとは : <a href="https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/">https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/</a> 日本のLEED認証プロジェクトリスト : <a href="https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/certified-projects/">https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/certified-projects/</a>	

(25)

対 象	宿泊施設、飲食店／レストラン	 <p>観光施設 心のバリアフリー認定</p> <p>【認定マーク】</p>
名 称	観光施設における心のバリアフリー認定制度	
管理団体	観光庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	観光庁 観光産業課 観光施設における心のバリアフリー認定制度担当： <a href="mailto:hgt-kanko-bfnintei@mlit.go.jp">hgt-kanko-bfnintei@mlit.go.jp</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>「観光施設における心のバリアフリー認定制度」は、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした認定制度。</li><li>観光施設のさらなるバリアフリー対応とその情報発信を支援し、高齢者や障がい者がより安全で快適な旅行をするための環境整備を推進するため、観光庁により 2020 年に創設された。</li><li>認定対象は、宿泊施設、飲食店、観光案内所となっており、認定を受けた観光施設は、観光庁が定める認定マークを使用することができる。</li><li>認定を受ける場合、下記の基準をすべて満たす必要がある。<ol style="list-style-type: none"><li>① 備品の備付け、貸出等により施設内の段差解消やコミュニケーションの円滑化を図る取組等施設のバリアフリー性能を補完するための措置を3つ以上行い、高齢者、障がい者等が施設を安全かつ円滑に利用できるような工夫を行っていること。</li><li>② 施設の従業員に対し、高齢者、障がい者等へのコミュニケーションやサポートの仕方に関する研修を実施すること等バリアフリーに関する教育訓練を年に1回以上行っていること。</li><li>③ 自らのウェブサイト以外のウェブサイトで、施設のバリアに関する情報などのバリアフリー情報を、積極的に発信していること。</li></ol></li></ul>	
参考 URL	観光施設における心のバリアフリー認定制度： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html</a>	

※ 4. 飲食店／レストランに記載の内容と同じ

(26)

対 象	宿泊施設	
名 称	EarthCheck Certified	
管理団体	アースチェック	
本 部 国	オーストラリア	
連絡窓口	アースチェック : <a href="mailto:info@earthcheck.org">info@earthcheck.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アースチェックは、1987年に設立された団体で、設立当初は、オーストラリアでの調査機関として開始。GSTCが認定している地域向けプログラムを持つ第三者認証機関の中でも歴史ある団体。</li><li>・ 認証プログラムでは、シルバー、ゴールド、プラチナ、マスターのレベルを目指して長期的に取り組む制度となっている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ アースチェックのThe EarthCheck Company Standardでは、宿泊施設や旅行会社などの事業者も取り組むことのできる独自の認証プログラムを運営しているため、地域と事業者との連携に繋げやすいメリットがある。</li></ul>	
参考 URL	アースチェック : <a href="https://earthcheck.org/">https://earthcheck.org/</a> EarthCheck Certified: <a href="https://earthcheck.org/what-we-do/certification/earthcheck-certified/">https://earthcheck.org/what-we-do/certification/earthcheck-certified/</a> 日本初認証取得の記事: <a href="https://tokyo-marunouchi.jp/ja/sustainability/2460">https://tokyo-marunouchi.jp/ja/sustainability/2460</a>	

(参考)

対 象	宿泊施設	
団 体	Booking.com	
本 部 国	オランダ	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Booking.com では、利用者にとってサステナブルな選択肢がより身近なものとなるよう、宿泊施設がプラットフォーム上でサステナブルな取組を紹介できる「サステナブル・トラベル」プログラムを導入している。取組のレベルに応じて3段階で表示される。</li><li>・ レベル1は宿泊施設がプログラムに着手し、取組を実践していることを示す。レベル2は宿泊施設が影響力のあるサステナビリティへの取組を実践するために比較的大きな投資と努力をしていることを示す。レベル3は宿泊施設が影響力のあるサステナビリティへの取組を実践するために多大な投資と努力を行っているものの、まだ正式な第三者機関による認証を取得していない宿泊施設を示す。レベルは葉っぱの枚数で表現され、実施している取組がすべて表示される。</li><li>・ 本プログラムは、サステナブルな旅行を推奨する非営利団体 Travalyst などの独立機関によって検証されており、団体と連携しながらアップデートにも取り組んでいる。</li><li>・ G S T Cをはじめとする認証の仕組みや基準に基づく5つの主要分野（廃棄物の削減、エネルギーや温室効果ガスの削減、節水、地域コミュニティの支援、自然保護）において、実践すればインパクトが見込めるサステナブルな取組内容を特定している。</li></ul>	
参考 URL	「サステナブル・トラベル」プログラム： <a href="https://partner.booking.com/ja/%E3%83%98%E3%83%AB%E3%83%97/%E5%AE%BF%E6%B3%8A%E6%96%BD%E8%A8%AD%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8/%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%81%AE%E7%AE%A1%E7%90%86/%E3%82%B5%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%8A%E3%83%93%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95">https://partner.booking.com/ja/%E3%83%98%E3%83%AB%E3%83%97/%E5%AE%BF%E6%B3%8A%E6%96%BD%E8%A8%AD%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8/%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%81%AE%E7%AE%A1%E7%90%86/%E3%82%B5%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%8A%E3%83%93%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95</a> 「サステナブル・トラベル」ハンドブック： <a href="https://partner.booking.com/ja/help/guides/sustainability-hospitality-handbook">https://partner.booking.com/ja/help/guides/sustainability-hospitality-handbook</a>	

### 3. 旅行会社

海外の大手旅行会社やクルーズ会社は、持続可能な観光に関する認証レベルを取得した現地旅行会社や宿泊施設への送客の方針を発表し始めている。そのため、国内の受け入れ旅行会社として認証取得が重要となっている。

(27)

対 象	旅行会社	
名 称	トラベライフ	
管理団体	非営利団体 ECEAT- Projects	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	一般社団法人 J A R T A : <a href="https://jarta.org/contact/">https://jarta.org/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>オランダに本部をおくツアー事業者や旅行会社を対象に持続可能性について審査を行う国際認証団体。</li> <li>ISO26000 および GSTC 評価項目を含む国際基準およびガイドラインに基づいて、持続可能性を高めるための研修やツール、および手段を提供している。</li> <li>トラベライフの認証プログラムは、3つのステージに分かれている。ステージ①では、一般会員となり、担当者が認証取得に向けての勉強を始め、ステージ②では、パートナー会員となり、企業として認証に向けて段階的に活動する準備が整った状態となる。パートナー会員ロゴも付与される。ステージ③では、現地監査なども経て評価を受けた企業が認証会員となり、認証ロゴも付与される。</li> <li>特に海外の送客企業に対して、サステナブルな旅行会社であることを示すことができる。</li> <li>国内では、一般社団法人 J A R T A が日本窓口となっており、認証取得サポート、研修等を実施している。</li> <li>国内メンバーのネットワーク化が積極的に図られており、認証取得に向けて取り組む中で、同業者間の課題共有や情報交換などが可能。</li> </ul>	
参考 URL	トラベライフ : <a href="https://www.travelife.info/">https://www.travelife.info/</a> 一般社団法人 J A R T A : <a href="https://jarta.org/travelife">https://jarta.org/travelife</a>	

(28)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	コントロールユニオン	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	株Control Union Japan <a href="https://certifications.controlunion.com/ja">https://certifications.controlunion.com/ja</a> 担当 大村、佐田 <a href="mailto:infojp@controlunion.com">infojp@controlunion.com</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1920年に設立した団体で、2002年に認証プログラムを開始した第三者認証機関。日本を含む世界70カ国に事務所がある。</li><li>・ 様々な分野の認証プログラムを多く保持しており、旅行会社及び宿泊施設向けの認証プログラムは、GSTC認定のものとなっている。認証取得により、GSTCのC o Cロゴの使用も可能となる(※1)。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 認証機関として長い歴史を持つ団体で、食材や資材などの持続可能な調達に関わる認証プログラムも多く運用しているため、サプライチェーン全体における認証プログラムに関する情報を得られることが特徴。</li></ul>	
参考 URL	コントロールユニオン : <a href="https://certifications.controlunion.com/ja">https://certifications.controlunion.com/ja</a> GSTC認証プログラム : <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc</a> その他の認証プログラム : <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs</a> ※1 C o C (Chain of Custody) 管理ナンバーのついたGSTCロゴ : <a href="https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/">https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(29)

対 象	宿泊施設、旅行会社	 
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	ビューローベリタス	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	Bureau Veritas CHINA <a href="https://www.bureauveritas.cn/en/contact-us">https://www.bureauveritas.cn/en/contact-us</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビューローベリタスは、1828年にフランス船級協会として設立された団体で、現在は世界最大級の第三者試験・検査・認証機関として「信頼・責任・志と謙虚さ・柔軟さと包容」を価値とし、「品質・健康・安全・環境および社会的責任」の分野で、あらゆる産業・事業・組織の信頼性向上を支える事業を展開している。グループは、世界中に1,500以上のオフィスと研究所に78,000人以上の従業員を擁している。</li><li>・ 2020年4月に、ビューローベリタスグループのビューローベリタス香港が、GSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>・ ビューローベリタスの認証プロセスは、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>① 認証範囲の定義</li><li>② 事前監査 (オプション) : 規格に対する現状のギャップ分析・診断</li><li>③ 2段階の認証審査<ul style="list-style-type: none"><li>第1段階 : 組織の認証取得準備についての確認を行う準備審査</li><li>第2段階 : 組織のマネジメントシステムの有効性を含む実施状況の評価</li></ul></li><li>④ 2段階の審査結果が良好な場合、3年間有効な認証を発行</li><li>⑤ 3年後に再認証のための審査</li></ul></li></ul>	
参考 URL	ビューローベリタス : <a href="https://group.bureauveritas.com/">https://group.bureauveritas.com/</a> GSTC Sustainable Tourism Certification (ビューローベリタス香港) : <a href="https://www.bureauveritas.cn/en/our-services/certification/sustainability-management">https://www.bureauveritas.cn/en/our-services/certification/sustainability-management</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(30)

対 象	地域、宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	ビレオ	
本 部 国	イタリア	
連絡窓口	ビレオ : <a href="mailto:info@vireosrl.it">info@vireosrl.it</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビレオは、2006年に設立された団体で、設立当初は、F S C (森林管理協議会) などの環境認証サービスから開始した第三者認証機関。</li><li>・ G S T C が認定している第三者認証機関の中でも唯一、観光地域向け、宿泊施設向け、旅行会社向けのすべての認証プログラムでもG S T C 認定を受けている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 観光地域向けの認証から事業者向けの認証まで、幅広い範囲の認証プログラムに関して相談できることが特徴。また、F S C (森林管理協議会) 認証やM S C (海洋管理協議会) 認証のプログラムも運営していることから、木材、紙、水産物を扱う地域関係者の取組に資する情報を得ることも可能。</li></ul>	
参考 URL	ビレオ : <a href="https://www.vireosrl.it/en/">https://www.vireosrl.it/en/</a> GSTC Certification : <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/">https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/</a> 取得地域、事業者: <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/">https://www.vireosrl.it/en/certificazione/gstc-certification-destinations/</a> F S C ジャパン: <a href="https://jp.fsc.org/jp-ja">https://jp.fsc.org/jp-ja</a> M S C ジャパン: <a href="https://www.msc.org/jp">https://www.msc.org/jp</a>	

※ 1. 観光地／観光資源、2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(31)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC certification (再掲)	
管理団体	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ	
本 部 国	キプロス	
連絡窓口	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : <a href="mailto:cert@ucsl.eu">cert@ucsl.eu</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>ユナイテッドサティフィケーションシステムズ (以下、UCSL) は、2017年にキプロスで設立された団体で、東西ヨーロッパ、ロシア、中東、インド、中国で活動する独立した国際認証機関。サステナビリティ分野で豊富な経験を持つ100人以上の専門家が所属している。</li><li>2020年6月に、UCSLはGSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>UCSLは、3段階のサイズに応じた認証プログラムを有しており、サイズは以下の通りとなっている。<ul style="list-style-type: none"><li>① シングル認証 (1つの宿泊施設やツアーオペレーター)</li><li>② マルチサイト認証 (異なる場所に複数施設を持つ宿泊施設のチェーンや、同じ観光地の異なる場所で活動するツアーオペレーターなど)</li><li>③ グループ認証 (1つの観光地における宿泊施設/ツアーオペレーターのグループ、または、異なる所有者の小規模な独立した宿泊施設のグループなど)</li></ul></li><li>現在、GSTCの認証プログラムの他、海洋 (ASC、MSC)、持続可能な企業システム (GSES) の認証サービスを提供しており、バイオ燃料、水、金属など他の分野への参画も進めている。</li></ul>	
参考 URL	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : <a href="https://ucsl.eu/">https://ucsl.eu/</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(32)

対 象	宿泊施設、旅行会社 等	
名 称	世界観光倫理憲章（再掲）	
管理団体	国連世界観光機関（UNWTO）	
連絡窓口	国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所： <a href="https://unwto-ap.org/inquiry/">https://unwto-ap.org/inquiry/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1999年10月の第13回UNWTO総会（チリ・サンティアゴ）において、全加盟国により受入れられたもの。環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光の発展を最大限に引き出すことを目的とし、各国政府、観光業界、地域社会、旅行者等の全てのステークホルダーが、責任ある持続可能な観光を実現するための規範としている。</li><li>・ UNWTOでは2011年からは、世界観光倫理憲章の普及促進のために、民間部門による世界観光倫理憲章への誓約を促進している。</li><li>・ 民間企業・団体がこのコミットメントに署名をすることで、それぞれの企業・団体が企業の社会的責任（CSR）を通じて、持続可能な観光開発を実践し、促進することを目的としている。</li></ul> <p><b>【世界観光倫理憲章の構成】</b></p> <p>第1条 人間と社会間の相互理解と敬意への観光の貢献 第2条 個人と集団の充足感を得る手段としての観光 第3条 観光：持続可能な開発の要素 第4条 観光：人類の文化遺産の利用とその価値を増進させる貢献 第5条 観光：受入国及び受入側地域社会に役立つ活動 第6条 観光開発の利害関係者の義務 第7条 観光をする権利 第8条 観光客の行動の自由 第9条 観光産業における労働者と事業者の権利 第10条 世界観光倫理憲章の原則の実施</p>	
参考 URL	世界観光倫理憲章： <a href="https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/">https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/</a>	

#### 4. 飲食店／レストラン

食料廃棄や乱獲漁業などは、環境への悪影響の一因となっている。旅行商品の造成において、持続可能性の側面から、飲食店・レストランやメニューの選定を行う事が重要となる。また、地産地消の食事を提供できることが望ましい。

(33)

対 象	飲食店／レストラン	
名 称	FOOD MADE GOOD	
管理団体	サステイナブル・レストラン協会 (SRA)	
本 部 国	イギリス	
連絡窓口	日本サステイナブル・レストラン協会 (SRA-J) : <a href="mailto:info@foodmadegood.jp">info@foodmadegood.jp</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>FOOD MADE GOOD は、フードサービス業界のサステナビリティを高めることをミッションとして、2010年に英国で創設された非営利団体サステイナブル・レストラン協会 (SRA) が飲食店の食材調達や運営のサステナビリティを格付けするプログラム。日本ではSRAの日本支部である一般社団法人日本サステイナブル・レストラン協会 (SRA-J) が運営を行っている。</li> <li>飲食店、レストランなどフードサービス業者が、サステナビリティに関する「レーティング」を実施することで、このフレームワークの主要な10項目の領域に対して、どの程度それぞれ対処しているかを評価し進捗状況を確認することが可能なツール。</li> <li>メンバーがオンラインの自己評価を完了すると、スコアが計算され、サステナビリティの基準を達成している飲食店、レストランがサステナビリティの1つ星、2つ星、3つ星というレーティング結果を受けることになる。</li> <li>サステナビリティの取組に関するレーティング評価について、第三者による認定が企業に提供され、顧客、スタッフ、コミュニティ、潜在的な投資家を含むその他のステークホルダーへ示すことができる。</li> </ul>	
参考 URL	日本サステイナブル・レストラン協会 : <a href="https://foodmadegood.jp/">https://foodmadegood.jp/</a> Food Made Good Awards2022 : <a href="https://foodmadegood.jp/food-made-good-japan-awards-2022/">https://foodmadegood.jp/food-made-good-japan-awards-2022/</a>	

(34)

対 象	飲食店／レストラン	
名 称	WWF サステナブル・シーフード基準	
管理団体	世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)	
本 部 国	日本	
連絡窓口	公益財団法人世界自然保護基金 ジャパン (WWF ジャパン) : <a href="https://www.wwf.or.jp/info/">https://www.wwf.or.jp/info/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>• WWF サステナブル・シーフード基準は、飲食業界において、自然・生態系・社会と調和のとれた持続可能な水産物の利用を促進するため、WWF ジャパンが策定した調達方針。持続可能性を担保するための必要最低限の項目が示されている。</li><li>• 飲食店は、WWF サステナブル・シーフード基準に基づいた調達方針を制定し、この項目を遵守し、取組を推進することを宣言することが求められる。</li><li>• 宣言を行った飲食店は、WWF ジャパンにより、持続可能な水産物調達にかかる情報提供や、WWF ジャパンのオウンドメディア、またメディアを通じて広く、消費者、社会にむけて公表・発信が行われる。</li></ul>	
参考 URL	WWF ジャパン 飲食業における水産物の持続可能な調達に向けて： <a href="https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/assets/pdf/ProcurementDeclaration.pdf">https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/assets/pdf/ProcurementDeclaration.pdf</a> サステナブル・シーフードが食べられるレストラン： <a href="https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/restaurant.html">https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/restaurant.html</a>	

(35)

対 象	農場／農畜産物	
名 称	G A P 認 証 ①GLOBALG. A. P. ②ASIAGAP /JGAP	
管理団体	① FoodPlusGmbH ② 一般財団法人日本G A P 協会	
本 部 国	①ドイツ ②日本	
連絡窓口	① 一般社団法人G A P 普及推進機構： <a href="https://www.ggap.jp/?page_id=23">https://www.ggap.jp/?page_id=23</a> ② 一般社団法人日本G A P 協会： <a href="https://jgap.jp/contact/">https://jgap.jp/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ G A P は、「Good Agricultural Practice」の頭文字をとった言葉で、農業生産工程管理の評価基準として 1990 年代にヨーロッパで始まったプログラム。</li><li>・ G A P に取り組むことで、食品の安全や、自然環境の保全、生産者の労働安全や人権の保護に配慮し、将来的に持続可能な農産物の供給の実現につながることを期待される。</li><li>・ G A P 認証とは、農業者が実施するG A P の取組を第三者認証機関が審査し証明する民間の認証制度。</li><li>・ 認証は3種類あり、欧州を中心に世界 120 カ国で活用されている「GLOBALG. A. P.」、日本の実情に即して開発された「JGAP」、JGAP をアジア共通の国際規格として発展させた「ASIAGAP」となっている。</li><li>・ 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材調達基準の要件にG A P 認証が取り上げられたことで重要性が認識され、持続可能性に配慮した農畜産物の普及拡大に向けて取組が進められている。</li></ul>	
参考 URL	これから始めるG A P： <a href="http://gap.maff.go.jp/">http://gap.maff.go.jp/</a> 農林水産省： <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap_certification.html">https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap_certification.html</a> 一般社団法人G A P 普及推進機構： <a href="https://www.ggap.jp/">https://www.ggap.jp/</a> 一般社団法人日本G A P 協会： <a href="https://jgap.jp/">https://jgap.jp/</a>	

(36)

対 象	宿泊施設、飲食店／レストラン	<p style="text-align: center;"><b>観光施設 心のバリアフリー認定</b></p>  <p style="text-align: center;"><b>【認定マーク】</b></p>
名 称	観光施設における心のバリアフリー認定制度（再掲）	
管理団体	観光庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	観光庁 観光産業課 観光施設における心のバリアフリー認定制度担当： <a href="mailto:hqt-kanko-bfnintei@mlit.go.jp">hqt-kanko-bfnintei@mlit.go.jp</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「観光施設における心のバリアフリー認定制度」は、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした認定制度。</li><li>・ 観光施設のさらなるバリアフリー対応とその情報発信を支援し、高齢者や障がい者がより安全で快適な旅行をするための環境整備を推進するため、観光庁により 2020 年に創設された。</li><li>・ 認定対象は、宿泊施設、飲食店、観光案内所となっており、認定を受けた観光施設は、観光庁が定める認定マークを使用することができる。</li><li>・ 認定を受ける場合、下記の基準をすべて満たす必要がある。<ol style="list-style-type: none"><li>① 備品の備付け、貸出等により施設内の段差解消やコミュニケーションの円滑化を図る取組等施設のバリアフリー性能を補完するための措置を 3 つ以上行い、高齢者、障がい者等が施設を安全かつ円滑に利用できるような工夫を行っていること。</li><li>② 施設の従業員に対し、高齢者、障がい者等へのコミュニケーションやサポートの仕方に関する研修を実施すること等バリアフリーに関する教育訓練を年に 1 回以上行っていること。</li><li>③ 自らのウェブサイト以外のウェブサイトで、施設のバリアに関する情報などのバリアフリー情報を、積極的に発信していること。</li></ol></li></ul>	
参考 URL	観光施設における心のバリアフリー認定制度： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

## 5. ガイド

ツアーガイドや取引先企業、現地ツアー会社などにおいて、その組織で働くスタッフが、持続可能な観光に関する知識や国際基準について適切な理解があることが望ましい。持続可能な観光にかかる旅行商品の造成を行う人材としても大きく役立つ事が期待できる。

(37)

対 象	ガイド・観光に関わるすべての人材	
名 称	GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism	
管理団体	Global Sustainable Tourism Council (G S T C)	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	G S T C 日本研修担当 <a href="mailto:jp.training@gstccouncil.org">jp.training@gstccouncil.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016年から始まった、G S T C 基準についての研修プログラム (GSTC Sustainable Tourism Training Program (S T T P)) がある。</li> <li>G S T C 研修プログラム (日本語/英語、対面/オンライン) 修了者のみが受験可能なテスト (日本語/英語) があり、合格者には、「GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism」の個人向け証書が発行される。オンラインテスト受験の費用は、USD75。(証書は、サステナビリティ・コーディネーター等の職務に関する資格ではない。)</li> <li>G S T C 研修受講者及びテスト受験者は、持続可能性に関する適切な知識をもって、ツアー商品の造成やインタープリテーションにおいて、よりサステナブルな知識の提供や行動を旅行者にも促すことが期待でき、ガイド等の観光人材としての付加価値が高まる。</li> <li>名刺にも証書を個人として保有していることを記載できる (但し、英語表記のみ)。</li> </ul>	
参考 URL	証書について： <a href="https://www.gstccouncil.org/sustainable-tourism-training/certificate-in-sustainable-tourism">https://www.gstccouncil.org/sustainable-tourism-training/certificate-in-sustainable-tourism</a> G S T C サステナブルツーリズム研修プログラム： <a href="https://www.gstccouncil.org/sustainable-tourism-training/?lang=ja">https://www.gstccouncil.org/sustainable-tourism-training/?lang=ja</a>	

(38)

対 象	ガイド	 環境省 Ministry of the Environment
名 称	自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーション人材	
管理団体	環境省	
本 部 国	日本	
連絡窓口	公益社団法人日本環境教育フォーラム： <a href="https://www.jeef.or.jp/">https://www.jeef.or.jp/</a> 一般社団法人日本エコツーリズム協会： <a href="https://ecotourism.gr.jp/">https://ecotourism.gr.jp/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーション人材育成は、環境省が「国立公園満喫プロジェクト」の一環として、2017年より実施している人材育成事業。</li><li>・ 国立公園に限らず全国において自然資源を活用して地域活性化に取り組む地域を対象に、国内外のニーズも踏まえながら、ビジターセンターなどの拠点施設のスタッフや体験プログラム、エコツアーなどを企画・実施する事業者やガイド、コーディネーターなど、地域における持続可能な仕組みの構築に向けた、キーマンとなる人材の育成支援を目的としている。</li><li>・ 本研修には、現場における解説業務（インタープリテーション）のスキルアップをはかり、インタープリテーション全体計画策定の手法も学ぶコース（Aコース）と、エコツーリズムを活かして地域を盛り上げるために、ツアーガイドや地域コーディネーターとしての能力向上を目的としたコース（Bコース）の2コースが設定されている。</li></ul>	
参考情報	令和4年度 自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーションの人材育成支援事業の参加地域募集について： <a href="https://www.env.go.jp/press/press_00489.html">https://www.env.go.jp/press/press_00489.html</a>	

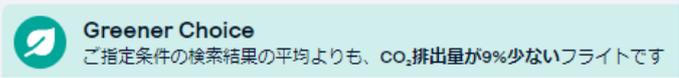
## 6. 脱炭素対策の取組

脱炭素対策については、その重要性を理解しつつも、具体的な取組方法に悩む企業が多い。全般的な産業界の脱炭素に向けた取組などを参考に、観光産業としてもいち早く取組を進めることが必要である。

(39)

対 象	全企業	
名 称	S B T (Science Based Targets)	
管理団体	C D P、国連グローバル・コンパクト、W R I、W W F	
本 部 国	—	
連絡窓口	The Science Based Targets initiative (S B T i) : <a href="https://sciencebasedtargets.org/contact">https://sciencebasedtargets.org/contact</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015年、企業による温室効果ガス排出削減の支援を目的としてC D P (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所 (W R I)、W W F の共同イニシアティブとなる、S B T i (Science Based Targets initiative)が発表された。</li> <li>企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を、産業革命前と比べ1.5°Cに抑えるという目標 (S B T) に向けて、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進。</li> <li>環境省のグリーン・バリューチェーンプラットフォームの中で、申請、費用などについて日本語での説明があり、国内からも取り組みやすい。排出量に関するグローバルな基準となっており、特に投資家が投資する際の判断基準となっている。</li> <li>また、S B Tに取り組む前段階として、気候変動イニシアティブ (J C I) というネットワークが国内に存在し、まずはJ C Iに加盟し、他企業の事例を学びながらS B Tに挑戦する事も可能。</li> </ul>	
参考 URL	グリーン・バリューチェーンプラットフォーム : <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html</a> S B T : <a href="https://sciencebasedtargets.org/">https://sciencebasedtargets.org/</a> S B T加盟企業リスト : <a href="https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action#table">https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action#table</a> J C I : <a href="https://japanclimate.org/">https://japanclimate.org/</a> ※加盟は、企業、団体、自治体、学術団体などが対象。	

(40)

対 象	フライト（航空券）	
名 称	グリーナーチョイス	
管理団体	スカイスキャナー（CTrip）	
本 部 国	イギリス	
連絡窓口	Skyscanner Japan 株式会社 <a href="https://www.skyscanner.jp/">https://www.skyscanner.jp/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>航空券などの比較予約サイトであるスカイスキャナーのグリーナーチョイスでは、旅行者が排出量の少ない航空券を選択する事が可能となっており、2019年以降（※2021年12月まで）、6,800万人の旅行者が低炭素排出のフライトを選択している。</li></ul> <p>▼ロゴイメージ</p> 	
参考 URL	グリーナーチョイス： <a href="https://www.skyscanner.jp/environment">https://www.skyscanner.jp/environment</a> Skyscanner Japan 株式会社： <a href="https://www.skyscanner.jp/media/company-details">https://www.skyscanner.jp/media/company-details</a>  (参考) カーボンオフセットツール例： ・ ANACO2 排出量の計算（※ANA 便を利用しなくても、無料で使用が可能）： <a href="https://www.ana.bluedotgreen.co.jp/jp/home">https://www.ana.bluedotgreen.co.jp/jp/home</a> ・ カルマカル： <a href="https://jarta.org/carmacal/">https://jarta.org/carmacal/</a>	

### Ⅲ. おわりに

2020年に「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を発表するなど、観光庁としては、持続可能な観光地域づくりの支援を進めているところ、地域が持続可能な観光地になるためには、観光産業全体の協力なしには達成する事ができない。

持続可能な観光にかかる旅行商品については、まだ国内においての事例や情報が少なく、商品造成に関する知見を得にくい状況にあると思料される。そのため、本書で紹介した認証ラベルや表彰制度などの情報を参考に、地域や関連事業者と協働しながら、持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に、ぜひ意欲的に取り組み、先行事例を作り上げてもらいたい。

我が国が、持続可能な観光先進国を目指す上で、地域と旅行業者が持続可能性に配慮しながら協働することにより、より良い相乗効果を生みながら、我が国全体で持続可能な観光にかかる旅行商品が普及されることを願う。

[付録] 国内取得地域・国内取得企業一覧表

(2023年2月時点)

1. 観光地／観光資源		
(1) 日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)		
小樽市、一般社団法人小樽観光協会		2021年3月取得
一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント		2021年3月取得
三浦半島観光連絡協議会		2021年3月取得
京都市		2021年3月取得
釜石市、株式会社かまいしDMC		2021年4月取得
四国ツーリズム創造機構		2021年7月取得
東松島市		2021年8月取得
阿蘇市		2021年12月取得
一般社団法人秋田犬ツーリズム		2022年1月取得
一般社団法人幡多広域観光協議会		2022年3月取得
廿日市市		2022年8月取得
一般社団法人あまみ大島観光物産連盟		2022年11月取得
一般社団法人キタ・マネジメント		2023年1月取得
土庄町		2023年2月取得
熱海市		2023年2月取得
(2) ① Green Destinations Top 100 Stories (TOP100)		
② Green Destinations Awards & Certification program		
阿蘇市 (熊本県)		TOP100 2021, 2022
奄美大島 (鹿児島県)		TOP100 2021
沖縄県		TOP100 2020
釜石市 (岩手県)		シルバー賞 TOP100 2018, 2019, 2020, 2021, 2022
京都市 (京都府)		TOP100 2020, 2021
佐渡市 (新潟県)		TOP100 2021
小豆島町 (香川県)		TOP100 2021, 2022
白川村 (岐阜県)		TOP100 2020
豊岡市 (兵庫県)		TOP100 2021
長良川流域 (岐阜県)		TOP100 2021
那須塩原市 (栃木県)		TOP100 2021, 2022
七尾市・中能登町 (石川県)		TOP100 2021

	ニセコ町（北海道）	TOP100 2020, 2021
	三浦半島（神奈川県）	TOP100 2020
	与論島（鹿児島県）	TOP100 2021
	下呂市・下呂温泉（岐阜県）	TOP100 2022
	箱根町（神奈川県）	TOP100 2022
	東松島市（宮城県）	TOP100 2022
	南知多町（愛知県）	TOP100 2022
	小国町（熊本県）	TOP100 2022
	大洲市（愛媛県）	TOP100 2022
(3) ① The EarthCheck Sustainable Destinations Program ② The Leading Destinations of the World™ program		
	国内に該当なし	The EarthCheck Sustainable Destinations Program
	下呂市（岐阜県）	The Leading Destinations of the World™ program
(4) GSTC certification / ビレオ		
	国内に該当なし	※ 海外では、イタリア、モルジブ、オーストリア、クロアチア 等
(5) ブルーフラッグ		
	由比ガ浜海水浴場（神奈川県）	
	若狭和田海水浴場（福井県）	
	須磨海水浴場（兵庫県）	
	本須賀海水浴場（千葉県）	
	片瀬西浜鵜沼海水浴場（神奈川県）	
	逗子海水浴場（神奈川県）	
	リベエラ逗子マリーナ（神奈川県）	
(6) グリーンフィンズ		
	A N A インターコンチネンタル万座ビーチリゾート	
	沖縄ダイビングサービス Lagoon	
	D. S. ARCHANGEL (ダイビングショップアークエンジェル)	
	TAKEDIVE	
	ハレクラニ沖縄	
	ピンクマーリンクラブ	

	トゥルーノース沖縄	
	ベントスダイバーズ	
	マリクラブナギ	
	株式会社 沖縄ダイビングセンター	
	トータルマリンスポット NEWS 恩納店	
(7) ダークスカイプレイス・プログラム (和名：星空保護区認定制度)		
	西表石垣国立公園 (沖縄県・八重山諸島)	ダークスカイ・パーク 2018年認定
	神津島 (東京都)	ダークスカイ・アイランド 2020年認定
	岡山県井原市美星町	ダークスカイ・コミュニティ 2021年認定
(8) ジオパーク		
	洞爺湖有珠山 (北海道)	日本ジオパーク 2008年認定 世界ジオパーク 2009年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	アポイ岳 (北海道)	日本ジオパーク 2008年認定 世界ジオパーク 2015年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	糸魚川 (新潟県)	日本ジオパーク 2008年認定 世界ジオパーク 2009年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	隠岐 (島根県)	日本ジオパーク 2009年認定 世界ジオパーク 2013年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	山陰海岸 (兵庫県、京都府、鳥取県)	日本ジオパーク 2008年認定 世界ジオパーク 2010年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	室戸 (高知県)	日本ジオパーク 2008年認定 世界ジオパーク 2011年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	島原半島 (長崎県)	日本ジオパーク 2008年認定 世界ジオパーク 2009年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
	阿蘇 (熊本県)	日本ジオパーク 2009年認定 世界ジオパーク 2014年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定

伊豆半島（静岡県）	日本ジオパーク 2012 年認定 ユネスコ世界ジオパーク 2018 年認定
白滝（北海道）	日本ジオパーク 2010 年認定
三笠（北海道）	日本ジオパーク 2013 年認定
とちち鹿追（北海道）	日本ジオパーク 2013 年認定
下北（青森県）	日本ジオパーク 2016 年認定
八峰白神（秋田県）	日本ジオパーク 2012 年認定
男鹿半島・大瀧（秋田県）	日本ジオパーク 2011 年認定
三陸（青森県、岩手県、宮城県）	日本ジオパーク 2013 年認定
鳥海山・飛鳥（山形県、秋田県）	日本ジオパーク 2016 年認定
ゆざわ（秋田県）	日本ジオパーク 2012 年認定
栗駒山麓（宮城県）	日本ジオパーク 2015 年認定
佐渡（新潟県）	日本ジオパーク 2013 年認定
磐梯山（福島県）	日本ジオパーク 2011 年認定
苗場山麓（新潟県、長野県）	日本ジオパーク 2014 年認定
立山黒部（富山県）	日本ジオパーク 2014 年認定
浅間山北麓（群馬県）	日本ジオパーク 2016 年認定
白山手取川（石川県）	日本ジオパーク 2011 年認定
下仁田（群馬県）	日本ジオパーク 2011 年認定
恐竜渓谷ふくい勝山（福井県）	日本ジオパーク 2009 年認定
筑波山地域（茨城県）	日本ジオパーク 2016 年認定
秩父（埼玉県）	日本ジオパーク 2011 年認定
南アルプス（中央構造線エリア）（長野県）	日本ジオパーク 2008 年認定
銚子（千葉県）	日本ジオパーク 2012 年認定
箱根（神奈川県）	日本ジオパーク 2012 年認定
伊豆大島（東京都）	日本ジオパーク 2010 年認定
Mine 秋吉台（山口県）	日本ジオパーク 2015 年認定
おおいた姫島（大分県）	日本ジオパーク 2013 年認定
南紀熊野（和歌山県、奈良県）	日本ジオパーク 2014 年認定
四国西予（愛媛県）	日本ジオパーク 2013 年認定
おおいた豊後大野（大分県）	日本ジオパーク 2013 年認定
霧島（鹿児島県、宮崎県）	日本ジオパーク 2010 年認定
桜島・錦江湾（鹿児島県）	日本ジオパーク 2021 年認定
三島村・鬼界カルデラ（鹿児島県）	日本ジオパーク 2015 年認定
島根半島・宍道湖中海（島根県）	日本ジオパーク 2017 年認定

	萩（山口県）	日本ジオパーク 2018年認定
	土佐清水（高知県）	日本ジオパーク 2021年認定
	十勝岳（北海道）	日本ジオパーク 2022年認定
	五島列島（下五島エリア）（長崎県）	日本ジオパーク 2022年認定
<b>(9) 世界遺産</b>		
	法隆寺地域の仏教建造物（奈良県）	1993年登録（文化）
	姫路城（兵庫県）	1993年登録（文化）
	屋久島（鹿児島県）	1993年登録（自然）
	白神山地（青森県、秋田県）	1993年登録（自然）
	古都京都の文化財（京都府、滋賀県）	1994年登録（文化）
	白川郷・五箇山の合掌造り集落（岐阜県、富山県）	1995年登録（文化）
	原爆ドーム（広島県）	1996年登録（文化）
	厳島神社（広島県）	1996年登録（文化）
	古都奈良の文化財（奈良県）	1998年登録（文化）
	日光の社寺（栃木県）	1999年登録（文化）
	琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄県）	2000年登録（文化）
	紀伊山地の霊場と参詣道（三重県、奈良県、和歌山県）	2004年登録（文化）
	知床（北海道）	2005年登録（自然）
	石見銀山遺跡とその文化的景観（島根県）	2007年登録（文化）
	小笠原諸島（東京都）	2011年登録（自然）
	平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群（岩手県）	2011年登録（文化）
	富士山－信仰の対象と芸術の源泉（静岡県、山梨県）	2013年登録（文化）
	富岡製糸場と絹産業遺産群（群馬県）	2014年登録（文化）
	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県）	2015年登録（文化）
	国立西洋美術館本館（東京都） （注）7か国（日本、フランス、アルゼンチン、ベルギー、ドイツ、インド、スイス）にまたがる「ル・コルビュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－」の構成資産の一つ。	2016年登録（文化）

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群（福岡県）	2017年登録（文化）
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（長崎県）	2018年登録（文化）
百舌鳥・古市古墳群-古代日本の墳墓群-（大阪府）	2019年登録（文化）
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（鹿児島県、沖縄県）	2021年登録（自然）
北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道、青森県、岩手県、秋田県）	2021年登録（文化）
<b>(10) 日本遺産</b>	
近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源— （栃木県・茨城県・岡山県・大分県）	2015年認定
かかあ天下一ぐんまの絹物語—（群馬県）	2015年認定
加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡—人、技、心—（富山県）	2015年認定
灯（あか）り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～（石川県）	2015年認定
海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道～（福井県）	2015年認定
「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜（岐阜県）	2015年認定
祈る皇女斎王のみやこ 斎宮（三重県）	2015年認定
琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産（滋賀県）	2015年認定
日本茶 800年の歴史散歩（京都府）	2015年認定
丹波篠山デカンショ節-民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶-（兵庫県）	2015年認定
日本国創成のとき～飛鳥を翔（かけ）た女性たち～（奈良県）	2015年認定
六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～（鳥取県）	2015年認定
津和野今昔～百景図を歩く～（島根県）	2015年認定
尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市（広島県）	2015年認定

「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～（愛媛県・高知県・徳島県・香川県）	2015年認定
古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～（福岡県）	2015年認定
国境の島 老岐・対馬・五島～古代からの架け橋～（長崎県）	2015年認定
相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨～（熊本県）	2015年認定
政宗が育んだ“伊達”な文化（宮城県）	2016年認定
自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～（山形県）	2016年認定
会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～（福島県）	2016年認定
未来を拓いた「一本の水路」-大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代-（福島県）	2016年認定
「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」-佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群-（千葉県）	2016年認定
江戸庶民の信仰と行楽の地～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～（神奈川県）	2016年認定
「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～（神奈川県）	2016年認定
「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化（新潟県）	2016年認定
『珠玉と歩む物語』小松～時の流れの中で磨き上げた石の文化～（石川県）	2016年認定
木曾路はすべて山の中～山を守り 山に生きる～（長野県）	2016年認定
飛騨匠の技・こころ-木とともに、今に引き継ぐ1300年-（岐阜県）	2016年認定
『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～（兵庫県）	2016年認定
森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～（奈良県）	2016年認定

鯨とともに生きる (和歌山県)	2016 年認定
地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市 (鳥取県)	2016 年認定
出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～ (島根県)	2016 年認定
鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～ (広島県・神奈川県・長崎県・京都府)	2016 年認定
“日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島-よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶-(愛媛県・広島県)	2016 年認定
日本磁器のふるさと 肥前～百花繚乱のやきもの散歩～ (佐賀県・長崎県)	2016 年認定
江差の五月は江戸にもないーニシンの繁栄が息づく町ー (北海道)	2017 年認定
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～ (北海道・青森県・秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・大阪府・兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・香川県)	2017 年認定
サムライゆかりのシルク日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ (山形県)	2017 年認定
和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田 (埼玉県)	2017 年認定
忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー (滋賀県・三重県)	2017 年認定
300 年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊 (京都府)	2017 年認定
1400 年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路 (大道)～ (大阪府・奈良県)	2017 年認定
播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる 73km の轍～ (兵庫県)	2017 年認定
絶景の宝庫 和歌の浦 (和歌山県)	2017 年認定
「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅 (和歌山県)	2017 年認定

日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～（島根県）	2017年認定
一輪の綿花から始まる倉敷物語～和と洋が織りなす繊維のまち～（岡山県）	2017年認定
きっと恋する六古窯—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—（岡山県・福井県・愛知県・滋賀県・兵庫県）	2017年認定
森林鉄道から日本一のゆずロードへ—ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化—（高知県）	2017年認定
関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～（福岡県・山口県）	2017年認定
米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稻』物語」～（熊本県）	2017年認定
やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～（大分県）	2017年認定
カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～（北海道）	2018年認定
山寺が支えた紅花文化（山形県）	2018年認定
地下迷宮の秘密を探る旅～大谷石文化が息づくまち宇都宮～（栃木県）	2018年認定
明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～（栃木県）	2018年認定
宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波（富山県）	2018年認定
葡萄畑が織りなす風景—山梨県峡東地域—（山梨県）	2018年認定
星降る中部高地の縄文世界—数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に出会う旅—（長野県・山梨県）	2018年認定
旅人たちの足跡残る悠久の石畳道—箱根八里で辿る遙かな江戸の旅路—（静岡県・神奈川県）	2018年認定
「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～（和歌山県）	2018年認定
「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～（岡山県）	2018年認定

瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む瀬の浦～ (広島県)	2018年認定
鬼が仏になった里「くにさき」 (大分県)	2018年認定
古代人のモニュメント-台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観- (宮崎県)	2018年認定
本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭鉄港」～ (北海道)	2019年認定
みちのく GOLD 浪漫-黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる- (宮城県・岩手県)	2019年認定
里沼 (SATO-NUMA) - 「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化- (群馬県)	2019年認定
400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～ (福井県)	2019年認定
江戸時代の情緒に触れる絞りの産地～藍染が風にゆれる町 有松～ (愛知県)	2019年認定
海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち～ (三重県)	2019年認定
1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～ (滋賀県・岐阜県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)	2019年認定
旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景— (大阪府)	2019年認定
中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～ (大阪府)	2019年認定
「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂 (兵庫県)	2019年認定
日本海の風が生んだ絶景と秘境—日本海の風が生んだ絶景と秘境幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」 (鳥取県・兵庫県)	2019年認定
神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～ (島根県)	2019年認定
知ってる!?!悠久の時間が流れる石の島～海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島～ (岡山県・香川県)	2019年認定

藍のふるさと 阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～（徳島県）	2019年認定
薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～（鹿児島県）	2019年認定
琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」（沖縄県）	2019年認定
「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～（北海道）	2020年認定
”奥南部”漆物語～安比川流域に受け継がれる伝統技術～（岩手県）	2020年認定
日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～（茨城県・山梨県）	2020年認定
かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～（栃木県・茨城県）	2020年認定
霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～（東京都）	2020年認定
究極の雪国とおかまち一真説！豪雪地ものがたり～（新潟県）	2020年認定
海を越えた鉄道～世界へつながる 鉄道のキセキ～（福井県・滋賀県）	2020年認定
甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～（山梨県）	2020年認定
月の都 千曲一姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」～（長野県）	2020年認定
レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～（長野県）	2020年認定
日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック（道中記）～（静岡県）	2020年認定
京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水～舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつとき～（京都府・滋賀県）	2020年認定
女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～（大阪府・奈良県・和歌山県）	2020年認定

「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ 銘醸地、伊丹と灘五郷（兵庫県）	2020年認定
もう、すべらせない！！～龍田古道の心臓部 「亀の瀬」を越えてゆけ～（奈良県・大阪府）	2020年認定
「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道 はじまりの地－（和歌山県・大阪府・奈良県）	2020年認定
中世日本の傑作 益田を味わう－地方の時代に 輝き再び－（島根県）	2020年認定
石見の火山が伝える悠久の歴史～” 縄文の 森” ” 銀の山” と出逢える旅へ～（島根県）	2020年認定
「ジャパンレッド」発祥の地－弁柄と銅の町・ 備中吹屋－（岡山県）	2020年認定
砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード ～（長崎県・福岡県・佐賀県）	2020年認定
八代を創造した石工たちの軌跡～石工の郷に 息づく石造りのレガシー～（熊本県）	2020年認定
(11) エコツアーリズム推進法による認定エコツアーリズム推進地域（認定団体）	
埼玉県飯能市（飯能市エコツアーリズム推進協 議会）	2009年9月8日認定
沖縄県渡嘉敷村・沖縄県座間味村（渡嘉敷村エ コツアーリズム推進協議会・座間味村エコツー リズム推進協議会）	2012年6月27日認定
群馬県みなかみ町（谷川岳エコツアーリズム推 進協議会）	2012年6月29日認定
三重県鳥羽市（鳥羽市エコツアーリズム推進協 議会）	2014年3月13日認定
三重県名張市（名張市エコツアーリズム推進協 議会）	2014年7月9日認定
京都府南丹市（南丹市美山エコツアーリズム推 進協議会）	2014年11月21日認定
東京都小笠原村（小笠原エコツアーリズム推 進協議会）	2016年1月28日認定
北海道弟子屈町（てしかがえこまち推進協 議会）	2016年11月15日認定
富山県上市町（上市まちのわ推進協議会）	2017年2月7日認定

愛媛県西条市・久万高原町（愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会）	2017年2月7日認定
宮崎県串間市（串間エコツーリズム推進協議会）	2017年2月7日認定
鹿児島県奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町（奄美群島エコツーリズム推進協議会）	2017年2月7日認定
東京都檜原村（檜原村エコツーリズム推進協議会）	2018年4月6日認定
岐阜県下呂市（下呂市エコツーリズム推進協議会）	2018年4月6日認定
群馬県前橋市（赤城山エコツーリズム推進協議会）	2018年9月10日認定
熊本県阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町（阿蘇ジオパーク推進協議会）	2019年7月11日認定
奈良県川上村（吉野川紀の川源流ツーリズム推進協議会）	2019年11月16日認定
広島県廿日市市（宮島エコツーリズム推進協議会）	2020年9月11日認定
岐阜県白川村（白川郷まるごと体験協議会）	2021年7月20日認定
長野県軽井沢町（軽井沢町エコツーリズム推進協議会）	2022年5月26日認定
滋賀県東近江市（東近江市エコツーリズム推進協議会）	2022年10月22日認定
竹富町西表島（竹富町西表島エコツーリズム推進協議会）	2022年12月7日認定

## 2. 宿泊施設

### (12) GSTC certification／コントロールユニオン

国内に該当なし

### (13) GSTC certification／ビューローベリタス

国内に該当なし

### (14) GSTC certification／ビレオ

国内に該当なし

(15) GSTC certification/ユナイテッドサティフィケーションシステムズ		
国内に該当なし		
(16) グリーンキー		
別邸 仙寿庵 (群馬県)		2018 年取得
扉温泉明神館 (長野県)		2009 年取得
伝泊 The Beachfront MIJORA (鹿児島県)		2022 年取得
伝泊 古民家 (笠利地区のみ) (鹿児島県)		2022 年取得
伝泊 奄美 ホテル (鹿児島県)		2022 年取得
伝泊 フレンドリー (鹿児島県)		2022 年取得
(17) Green Globe Certification		
クラブメッド カピラ (石垣島)		ゴールドメンバー
クラブメッド サホロ (北海道)		ゴールドメンバー
クラブメッド トナム (北海道)		メンバー
(18) エコマークホテル		
エースホテル京都		
ホテルオークラ東京ベイ		
ホテルニューグランド		
京王プラザホテル		
ザ・クレストホテル柏		
上高地帝国ホテル		
帝国ホテル大阪		
帝国ホテル東京		
ホテルサンライズ 21		
三井ガーデンホテルズ、ザセレスティンホテルズ、シーエンス		
NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO		
JR 九州ステーションホテル小倉		
シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート		
NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO		
NOHGA HOTEL UENO TOKYO		
パレスホテル東京		
SHIROYAMA HOTEL kagoshima		
庭のホテル東京		
琴平パークホテル		
リーガロイヤルホテル京都		

	リーガロイヤルホテル広島	
	リーガロイヤルホテル東京	
	リーガロイヤルホテル小倉	
	リーガロイヤルホテル（大阪）	
	ホテルグレートモーニング博多	
	リーガホテルゼスト高松	
	高松国際ホテル	
	スーパーホテル	
	ホテルグランヴィア岡山	
	戸田家	
	名古屋観光ホテル	
<b>(19) ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約</b>		
	ゼボラリゾート - タイ、ピピ島（株ウェッジ ホールディングスが所有）	
	※ 全世界で企業規模問わず、4,200ものホテル が加盟をしている。	
<b>(20) 世界観光倫理憲章</b>		
	（株）西村屋（兵庫県）	2019年署名
	（株）ピッキオ（長野県）	2019年署名
	（株）滝の湯ホテル（山形県）	2019年署名
	鶴雅ホールディングス株（北海道）	2019年署名
	（株）湯元館（滋賀県）	2019年署名
	（株）庵ホテル（大阪府）	2022年署名
	JW マリオット・ホテル奈良（奈良県）	2022年署名
	（株）松井旅館本館（京都府）	2022年署名
	（株）奈良ホテル（奈良県）	2022年署名
	（株）旅館古窯（山形県）	2022年署名
	（株）玉の湯（大分県）	2022年署名
	（株）綿善（京都府）	2022年署名
<b>(21) サクラクオリティ</b>		
	めぐみ雪（北海道）	
	ロジニセコベアーズ（北海道）	
	ニセコ 峙（北海道）	
	ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園 （北海道）	

仙台ロイヤルパークホテル(宮城県)		
日光千姫物語(栃木県)		
上牧温泉 辰巳館(群馬県)		
別邸仙寿庵(群馬県)		
法師温泉 長寿館(群馬県)		
旅館たにがわ(群馬県)		
シャレー・ラネージュ(群馬県)		
蛍雪の宿 尚文(群馬県)		
名栗温泉大松閣(埼玉県)		
小さなホテル セラヴィ(埼玉県)		
須崎旅館(埼玉県)		
BIO-RESORT HOTEL & SPA O Park OGOSE (埼玉県)		
ザ ロイヤルパークホテル 東京羽田(東京都)		
ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留 (東京都)		
ロイヤルパークホテル(東京都)		
ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座8(東京都)		
メズム東京、オートグラフ コレクション(東京都)		
ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座コリドー(東京都)		
横浜ロイヤルパークホテル(神奈川県)		
松之山温泉 ひなの宿ちとせ(新潟県)		
越後湯澤 HATAGO 井仙(新潟県)		
酒の宿 玉城屋(新潟県)		
雪国の宿 高半(新潟県)		
里山十帖(新潟県)		
Ryokan 浦島(新潟県)		
ホテル志い屋(新潟県)		
湖畔の宿 吉田家(新潟県)		
国際佐渡観光ホテル 八幡館(新潟県)		
高志の宿 高島屋(新潟県)		
木のぬくもりの宿 濱松屋(新潟県)		
ロッヂ政エ門(新潟県)		
花とほたる 湯の里 雪国(新潟県)		

自在館（新潟県）		
石打ユングパルナス（新潟県）		
湯沢スキーハウス（新潟県）		
友家ホテル（新潟県）		
Ryugon（新潟県）		
湯元庄屋 和泉屋旅館（新潟県）		
ニューグリーンピア津南（新潟県）		
ラ・ファミーユ中角（新潟県）		
温泉民宿 高野屋（新潟県）		
旬彩の庄 坂戸城（新潟県）		
清津館（新潟県）		
大観荘 せなみの湯（新潟県）		
月岡温泉 ホテルひさご荘（新潟県）		
ホテル清風苑（新潟県）		
越後長野温泉 嵐溪荘（新潟県）		
ロイヤルホテル小林（新潟県）		
汐彩の湯 みかく（新潟県）		
蓬平温泉 和泉屋（新潟県）		
村杉温泉 角屋旅館（新潟県）		
越後乃お宿 わか竹（新潟県）		
鷹の巣館（新潟県）		
五頭今板温泉 湯本館（新潟県）		
村杉温泉 長生館（新潟県）		
弥彦温泉 割烹の宿 櫻家（新潟県）		
新潟東映ホテル（新潟県）		
ホテル小柳（新潟県）		
四季の宿 みのや（新潟県）		
佐取館（新潟県）		
旅館 初音（新潟県）		
摩周（新潟県）		
ホテル大佐渡（新潟県）		
ホテルセンチュリーイカヤ（新潟県）		
農家民宿うしだ屋（新潟県）		
ホテル太閤（新潟県）		
妙高・山里の湯宿 香風館（新潟県）		

お宿ふるや (新潟県)		
旅館おかやま (新潟県)		
親不知観光ホテル (新潟県)		
赤倉ホテル (新潟県)		
高台の宿三景 (新潟県)		
美味探求の宿 住吉屋 (新潟県)		
ロイヤル胎内パークホテル (新潟県)		
阿賀のめぐみ 望川閣 (新潟県)		
三条ロイヤルホテル (新潟県)		
朱鷺伝説と露天風呂の宿 佐渡グリーンホテル きらく (新潟県)		
佐渡リゾートホテル吾妻 (新潟県)		
新潟第一ホテル (新潟県)		
光兎 (こうさぎ) の宿 あらかわ荘 (新潟県)		
伝統と風格の宿 ホテル 万長 (新潟県)		
源泉湯の宿 かいり (新潟県)		
ご縁の宿 伊藤屋 (新潟県)		
貝掛温泉 (新潟県)		
ホテルさかえや (新潟県)		
浦佐ホテルオカベ (新潟県)		
湖山荘 (新潟県)		
四季の郷薬師温泉 やまびこ荘 (新潟県)		
小出ホテルオカベ (新潟県)		
民宿浦新 (新潟県)		
山代温泉みやびの宿加賀百万石 (石川県)		
北陸福井あわら温泉 美松 (福井県)		
松永六感 藤屋 (福井県)		
南八ヶ岳須玉温泉 若神楼 (山梨県)		
ハイランドリゾート ホテル&スパ (山梨県)		
HOTEL KEYFOREST HOKUTO (山梨県)		
サインポスト (長野県)		
昼神グランドホテル天心 (長野県)		
ホテルアソシア高山リゾート (岐阜県)		
下呂温泉 水明館 (岐阜県)		
ホテルアセントプラザ浜松 (静岡県)		

山水館欣龍（静岡県）		
ホテルアソシア静岡（静岡県）		
愛知渥美半島 魚と貝のうまい店 お食事・旅館 玉川（愛知県）		
豊田プレステージホテル（愛知県）		
東海シティホテル（愛知県）		
旬景浪漫 銀波荘（愛知県）		
蒲郡クラシックホテル（愛知県）		
ホテル松風（愛知県）		
フォーポイントバイシェラトン名古屋 中部国際空港（愛知県）		
J・ホテル りんくう（愛知県）		
豊川グランドホテル（愛知県）		
尾張温泉郷 湯元館（愛知県）		
ホテル明山荘（愛知県）		
プラザホテル豊田（愛知県）		
平野屋（愛知県）		
蒲郡ホテル（愛知県）		
和のリゾートはづ（愛知県）		
ストリングスホテル 名古屋（愛知県）		
風の谷の庵（愛知県）		
ホテルアソシア豊橋（愛知県）		
名古屋 JR ゲートタワーホテル（愛知県）		
ザ ロイヤルパーク キャンパス 名古屋（愛知県）		
斎王の宮（三重県）		
琵琶湖ホテル（滋賀県）		
対橋楼（京都府）		
ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 大阪御堂筋（大阪府）		
ザ ロイヤルパーク キャンパス 大阪北浜（大阪府）		
ザ・サウザンド京都（京都府）		
ザ ロイヤルパーク キャンパス 神戸三宮（兵庫県）		

ザ ロイヤルパークホテル 京都梅小路 (京都府)		
ザ ロイヤルパークホテル 京都三条 (京都府)		
碧き島の宿熊野別邸中の島 (和歌山県)		
ザ ロイヤルパークホテル 京都四条 (京都府)		
旅館大橋 (鳥取県)		
ザ ロイヤルパーク キャンパス 京都二条 (京都府)		
旅館ますや (島根県)		
旅館のがわや (島根県)		
金城観光ホテル (島根県)		
ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 京都 (京都府)		
倉敷ステーションホテル (岡山県)		
ザ・ホテルリマーニ&スパ (岡山県)		
宮島離れの宿 IBUKU (広島県)		
ザ ロイヤルパークホテル 広島リバーサイド (広島県)		
清流の郷ブルーヴィラあなぶき (徳島県)		
小豆島国際ホテル (香川県)		
こんぴら温泉 貸切湯の宿 ことね (香川県)		
ことひら温泉 琴参閣 (香川県)		
こんぴら温泉湯元八千代 (香川県)		
ベイリゾートホテル小豆島 (香川県)		
夕風の湯 HOTEL 花樹海 (香川県)		
琴平グランドホテル 桜の抄 (香川県)		
島宿真里 (香川県)		
湯元こんぴら温泉華の湯 紅梅亭 (香川県)		
J Rホテルクレメント高松 (香川県)		
大江戸温泉物語 ホテルレオマの森 (香川県)		
高松シティホテル (香川県)		
オーキドホテル (香川県)		

ザ ロイヤルパークホテル 福岡 (福岡県)		
お宿 TSURUYA (長崎県)		
先小路 (長崎県)		
鮑集 (長崎県)		
親家 (長崎県)		
一期庵 (長崎県)		
一会庵 (長崎県)		
日月庵 (長崎県)		
にっしょうかん別邸紅葉亭 (長崎県)		
にっしょうかん新館梅松鶴 (長崎県)		
奥壱岐の千年湯 平山旅館 (長崎県)		
旅館 國崎 (長崎県)		
ホテルニュー長崎 (長崎県)		
ホテル日航ハウステンボス (長崎県)		
石苔亭いしだ (長崎県)		
ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル (長崎県)		
THE GLOBAL VIEW 長崎 (長崎県)		
雲仙温泉 青雲荘 (長崎県)		
長崎 稲佐山観光ホテル (長崎県)		
i+Land Nagasaki (長崎県)		
ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート (長崎県)		
長崎バスターミナルホテル (長崎県)		
民宿 繁屋 千賀荘 (長崎県)		
雲仙みかどホテル (長崎県)		
ホテルベルビュー長崎出島 (長崎県)		
ホテルクオーレ長崎駅前 (長崎県)		
ホテルブリスヴィラ波佐見 (長崎県)		
ホテルウイング・ポート長崎 (長崎県)		
ルークプラザホテル (長崎県)		
民芸モダンの宿 雲仙福田屋 (長崎県)		
ゆやど雲仙新湯 (長崎県)		
カンパーナホテル (長崎県)		
GOTO TSUBAKI HOTEL (長崎県)		

	対馬グランドホテル (長崎県)	
	杖立温泉 米屋別荘 (熊本県)	
	森の駅 どんぐり (熊本県)	
	木魂館 (熊本県)	
	阿蘇白水温泉「瑠璃」 (熊本県)	
	南阿蘇久木野温泉 四季の森 (熊本県)	
	旅館 壱の井 (熊本県)	
	夢龍胆 (熊本県)	
	ホテル ヴィラ・くにさき (大分県)	
	ホテルベイグランド国東 (大分県)	
	ホテル別府パストラル (大分県)	
	津房館 (大分県)	
	住吉浜リゾートパーク (大分県)	
	美湯の宿 両築別邸 (大分県)	
	竹と椿のお宿花べっふ (大分県)	
	汽車ポッポ (大分県)	
(22) サクラクオリティ An ESG Practice		
	ザ・サウザンド京都 (京都府)	3 御衣黄ザクラ
	琵琶湖ホテル (滋賀県)	3 御衣黄ザクラ
	上牧温泉 辰巳館 (群馬県)	1 御衣黄ザクラ
	別邸仙寿庵 (群馬県)	1 御衣黄ザクラ
	法師温泉 長寿館 (群馬県)	1 御衣黄ザクラ
	旅館たにがわ (群馬県)	1 御衣黄ザクラ
	蛍雪の宿 尚文 (群馬県)	1 御衣黄ザクラ
	松之山温泉 ひなの宿ちとせ (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	越後湯澤 HATAGO 井仙 (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	酒の宿 玉城屋 (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	雪国の宿 高半 (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	ryugon (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	里山十帖 (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	貝掛温泉 (新潟県)	1 御衣黄ザクラ
	メズム東京、オートグラフ コレクション (東京都)	1 御衣黄ザクラ
	HOTEL KEYFOREST HOKUTO (山梨県)	1 御衣黄ザクラ
(23) W E L L 認証		

	GOOD NATURE HOTEL 京都（京都府）		ゴールド 2020 年取得
(24) L E E D 認証			
	ホテル コレクティブ（沖縄県）		標準認証（Certified）2021 年取得
	Ace Hotel Kyoto（京都府）		シルバー 2020 年取得
	GOOD NATURE HOTEL 京都（京都府）		シルバー 2020 年取得
	ハイアット セントリック 金沢（石川県）		シルバー 2020 年取得
(25) 観光施設における心のバリアフリー認定制度			
	札幌パークホテル（北海道）		
	アートホテル旭川（北海道）		
	和風旅館扇松園（北海道）		
	ニセコ昆布温泉鶴雅別荘 奎の抄（北海道）		
	函館大沼 鶴雅リゾート エプイ（北海道）		
	スパ&ホテルリゾートふらのラテール（北海道）		
	阿寒の森鶴雅リゾート 花ゆう香（北海道）		
	あかん鶴雅別荘 鄙の座（北海道）		
	あかん遊久の里 鶴雅（北海道）		
	あかん湖 鶴雅ウイングス（北海道）		
	コンフォートホテル釧路（北海道）		
	コンフォートホテル札幌すすきの（北海道）		
	ハイムシャンゼリゼ7・12（北海道）		
	東急ステイ札幌（北海道）		
	東急ステイ札幌大通（北海道）		
	札幌グランドホテル（北海道）		
	京王プラザホテル札幌（北海道）		
	定山溪鶴雅リゾート&スパ 森の譚（北海道）		
	キキ知床 ナチュラルリゾート（北海道）		
	北こぶし知床 ホテル&リゾート（北海道）		
	湯宿くったり温泉レイク・イン（北海道）		
	しこつ湖鶴雅別荘 碧の座（北海道）		
	しこつ湖鶴雅リゾートスパ 水の譚（北海道）		
	十勝ガーデンズホテル（北海道）		
	コンフォートホテル帯広（北海道）		

第一滝本館（北海道）		
滝本イン（北海道）		
コンフォートホテル苫小牧（北海道）		
コンフォートホテル函館（北海道）		
センチュリーマリーナ函館（北海道）		
東急ステイ函館朝市 灯の湯（北海道）		
サロマ湖鶴雅リゾート（北海道）		
コンフォートホテル北見（北海道）		
北天の丘あばしり湖鶴雅リゾート（北海道）		
たきのうえホテル溪谷（北海道）		
コンフォートホテル八戸（青森県）		
結びの宿 愛隣館（岩手県）		
花巻温泉 ホテル千秋閣（岩手県）		
花巻温泉 ホテル紅葉館（岩手県）		
花巻温泉 ホテル花巻（岩手県）		
花巻温泉 佳松園（岩手県）		
コンフォートホテル北上（岩手県）		
コンフォートホテル仙台西口（宮城県）		
コンフォートホテル仙台東口（宮城県）		
奥州秋保温泉蘭亭（宮城県）		
バリュー・ザ・ホテル東松島矢本（宮城県）		
コンフォートホテル秋田（秋田県）		
秋田キャッスルホテル（秋田県）		
セイコーランドホテル（秋田県）		
桜桃の花 湯坊いちらく（山形県）		
コンフォートホテル山形（山形県）		
コンフォートホテル天童（山形県）		
上杉の御湯 御殿守（山形県）		
コンフォートホテル郡山（福島県）		
YUMORI ONSEN HOSTEL（福島県）		
ホテル 山水荘（福島県）		
裏磐梯グランデコ東急ホテル（福島県）		
テラスイン勝田（茨城県）		
ホテルクリスタルパレス（茨城県）		
ホテルテラスザガーデン水戸（茨城県）		

	コンフォートイン鹿島（茨城県）		
	ホテルテラスザスクエア日立（茨城県）		
	TABIYADO NERU-NIKKO（栃木県）		
	東急ハーヴェストクラブ那須（栃木県）		
	那須高原の宿 山水閣（栃木県）		
	ホテルハーヴェスト鬼怒川（栃木県）		
	ホテル松本楼（群馬県）		
	ホテル木暮（群馬県）		
	ヘルシーパル赤城（群馬県）		
	コンフォートホテル前橋（群馬県）		
	浦和ワシントンホテル（埼玉県）		
	名栗温泉 大松閣（埼玉県）		
	割烹旅館 清都（千葉県）		
	溪谷別庭 もちの木（千葉県）		
	コンフォートスイーツ東京ベイ（千葉県）		
	鴨川ユニバースホテル（千葉県）		
	旅館かわな（千葉県）		
	東急ハーヴェストクラブ勝浦（千葉県）		
	コンフォートホテル成田（千葉県）		
	京成ホテルミラマーレ（千葉県）		
	潮の香の湯宿浜紫（千葉県）		
	大島温泉ホテル（東京都）		
	コンフォートホテル東京清澄白河（東京都）		
	東急ステイ門前仲町（東京都）		
	東急ステイ高輪（東京都）		
	ホテルグレイスリー田町（東京都）		
	東急ステイ新橋（東京都）		
	東急ステイ青山プレミア（東京都）		
	コンフォートイン東京六本木（東京都）		
	東急ステイ渋谷 新南口（東京都）		
	東急ステイ渋谷（東京都）		
	東急ステイ四谷（東京都）		
	東急ステイ新宿イーストサイド（東京都）		
	東急ステイ新宿（東京都）		
	京王プラザホテル（東京都）		

東急ステイ西新宿（東京都）		
東急ステイ用賀（東京都）		
東急ステイ水道橋（東京都）		
コンフォートホテル東京神田（東京都）		
コンフォートホテル東京東神田（東京都）		
京王プラザホテル多摩（東京都）		
ホテルグレイスリー浅草（東京都）		
東急ステイ蒲田（東京都）		
東急ステイ銀座（東京都）		
東急ステイ築地（東京都）		
コンフォートホテル東京東日本橋（東京都）		
東急ステイ日本橋（東京都）		
京王プラザホテル八王子（東京都）		
東急ステイ五反田（東京都）		
東急ステイ池袋（東京都）		
東急ステイ目黒・祐天寺（東京都）		
ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル（神奈川県）		
東急ハーヴェストクラブトラスト箱根明神平（神奈川県）		
横浜ロイヤルパークホテル（神奈川県）		
横浜桜木町ワシントンホテル（神奈川県）		
コンフォートホテル横浜関内（神奈川県）		
東急ハーヴェストクラブ VIALA 箱根翡翠（神奈川県）		
東急ハーヴェストクラブ箱根甲子園（神奈川県）		
ホテルおかだ（神奈川県）		
コンフォートホテル燕三条（新潟県）		
コンフォートイン新潟亀田（新潟県）		
コンフォートホテル新潟駅前（新潟県）		
大観荘せなみの湯（新潟県）		
ryugon（新潟県）		
ホテル太閤（新潟県）		
大牧温泉観光旅館（富山県）		

	コンフォートホテル富山駅前（富山県）		
	吉田屋 山王閣（石川県）		
	ゆのくに天祥（石川県）		
	ホテルエコノ金沢駅前（石川県）		
	ANA クラウンプラザホテル金沢（石川県）		
	東急ステイ金沢（石川県）		
	金沢フレックスホテル片町（石川県）		
	加賀屋（石川県）		
	虹と海（石川県）		
	茶寮の宿 あえの風（石川県）		
	法師旅館（石川県）		
	まつさき（石川県）		
	東急ハーヴェストクラブスキージャム勝山 （福井県）		
	料理旅館 平成（福井県）		
	ホテルリバージュアケボノ（福井県）		
	ホテルエコノ福井駅前（福井県）		
	銘石の宿かげつ（山梨県）		
	竜王ラドン温泉ホテル 湯一とびあ（山梨 県）		
	コンフォートイン甲府（山梨県）		
	春日居びゅーほてる（山梨県）		
	石和名湯館 糸柳（山梨県）		
	ホテル古柏園（山梨県）		
	ホテル甲子園（山梨県）		
	ホテル花いさわ（山梨県）		
	石和びゅーほてる（山梨県）		
	ホテル八田（山梨県）		
	くつろぎの邸くにたち（山梨県）		
	富士レークホテル（山梨県）		
	四季の宿 富士山（山梨県）		
	ラコ華乃井ホテル（長野県）		
	蓼科親湯温泉（長野県）		
	蓼科東急ホテル（長野県）		

東急ハーヴェストクラブ蓼科アネックス（長野県）		
ホテル玉之湯（長野県）		
株式会社明神館（長野県）		
八峯苑鹿の湯（長野県）		
萃 sui-諏訪湖（長野県）		
上諏訪温泉しんゆ（長野県）		
ホテル紅や（長野県）		
コンフォートホテル長野（長野県）		
シルクホテルアネックス（長野県）		
シルクホテル（長野県）		
東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢（長野県）		
KYUKARUIZAWA KIKYO , Curio collection by Hilton（長野県）		
東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA（長野県）		
コンフォートホテル岐阜（岐阜県）		
東急ステイ飛騨高山 結の湯（岐阜県）		
コンフォートイン大垣（岐阜県）		
湯宿 みかんの木（静岡県）		
ホテルハーヴェスト伊東（静岡県）		
東急ハーヴェストクラブ天城高原（静岡県）		
東急ハーヴェストクラブ熱海伊豆山&VIALA（静岡県）		
コンフォートホテル浜松（静岡県）		
東急ハーヴェストクラブ浜名湖（静岡県）		
コンフォートホテル刈谷（愛知県）		
コンフォートホテル中部国際空港（愛知県）		
センターワンホテル半田（愛知県）		
コンフォートホテル豊橋（愛知県）		
ロワジールホテル豊橋（愛知県）		
コンフォートホテル豊川（愛知県）		
コンフォートホテル名古屋伏見（愛知県）		
ホテルエスプル名古屋栄（愛知県）		

コンフォートホテル名古屋新幹線口（愛知県）		
コンフォートホテル名古屋名駅南（愛知県）		
コンフォートホテル名古屋金山（愛知県）		
コンフォートホテル伊勢（三重県）		
四日市シティホテルアネックス（三重県）		
四日市シティホテル（三重県）		
安楽島温泉湯元海女乃島（三重県）		
鳥羽シーサイドホテル（三重県）		
ホテルグリーンパーク津（三重県）		
ホテルグリーンパーク鈴鹿（三重県）		
コンフォートホテル鈴鹿（三重県）		
ビジネス第一ホテル（滋賀県）		
ビジネスグリーンホテル日野（滋賀県）		
ビジネスグリーンホテル八日市（別館、ホテル海老長）（滋賀県）		
琵琶湖ホテル（滋賀県）		
コンフォートイン近江八幡（滋賀県）		
北ビワコホテルグラツィエ（滋賀県）		
コンフォートイン八日市（滋賀県）		
コンフォートホテル彦根（滋賀県）		
四季育む宿 然林房（京都府）		
綿善旅館（京都府）		
ホテルグレイスリー京都三条（京都府）		
京湯元ハトヤ瑞鳳閣（京都府）		
THE THOUSAND KYOTO（京都府）		
なごみ宿都和（京都府）		
ホテル佐野家（京都府）		
京の宿 北海館 お花坊（京都府）		
コンフォートホテル京都堀川五条（京都府）		
コンフォートイン京都四条烏丸（京都府）		
NISHIYAMA RYOKAN（京都府）		
nol kyoto sanjo（京都府）		
東急ステイ京都阪井座（京都府）		
東急ステイ京都三条烏丸（京都府）		

コンフォートホテル京都東寺（京都府）		
ROKU KYOTO ,LXR Hotels&Resorts（京都府）		
東急ハーヴェストクラブ京都鷹峯&VIALA（京都府）		
ホテルインターゲート大阪 梅田（大阪府）		
ホテルグレイスリー大阪なんば（大阪府）		
南天苑（大阪府）		
コンフォートホテル堺（大阪府）		
ホテルソビアル大阪ドーム前（大阪府）		
東急ステイ大阪本町（大阪府）		
コンフォートホテル大阪心斎橋（大阪府）		
コンフォートホテル新大阪（大阪府）		
ホテルソビアルなんば大国町（大阪府）		
ホテルアナガ（兵庫県）		
ホテル金波楼（兵庫県）		
コンフォートホテル神戸三宮（兵庫県）		
東急ハーヴェストクラブ有馬六彩（兵庫県）		
夕香楼しょう和（兵庫県）		
コンフォートホテル姫路（兵庫県）		
お宿芹（兵庫県）		
深山楽亭（兵庫県）		
ときわ別館（兵庫県）		
西村屋ホテル招月庭（兵庫県）		
つたや晴嵐亭（兵庫県）		
和みの宿おおかわ（兵庫県）		
みつわ旅館（兵庫県）		
心の宿 三國屋（兵庫県）		
こちんまり（兵庫県）		
川口屋本館（兵庫県）		
大和屋（兵庫県）		
但馬屋（兵庫県）		
西村屋本館（兵庫県）		
千年の湯古まん（兵庫県）		
つたや（兵庫県）		
城崎温泉 喜楽（兵庫県）		

千年の湯古まん別館（兵庫県）		
山本屋（兵庫県）		
やなぎ荘本館（兵庫県）		
月本屋旅館（兵庫県）		
やなぎ荘 別館華山（兵庫県）		
やなぎ荘 別館鶴喜（兵庫県）		
城崎温泉 泉翠（兵庫県）		
旅館 つばき乃（兵庫県）		
湯楽 Kinosaki Spa&Gardens（兵庫県）		
城崎温泉 あさざり荘（兵庫県）		
千年の湯古まん権左衛門（兵庫県）		
神湯荘 本館（奈良県）		
神湯荘 別館（奈良県）		
コンフォートホテル奈良（奈良県）		
吉田屋旅館（奈良県）		
ホテル 花小路（奈良県）		
ホテルニューわかさ/和鹿彩別邸（奈良県）		
ホテルシーモア・シーモアレジデンス（和歌山県）		
ホテルハーヴェスト南紀田辺（和歌山県）		
MANPA（和歌山県）		
コンフォートホテル和歌山（和歌山県）		
さぎの湯荘（島根県）		
なにわー水（島根県）		
コンフォートホテル呉（広島県）		
ホテルグランカーサ（広島県）		
ウィークリーホテルノースポイント（広島県）		
広島の前 相生（広島県）		
コンフォートホテル広島大手町（広島県）		
ホテルアクティブ！広島（広島県）		
白竜湖リゾート（広島県）		
HOTEL VAN CORNELL（広島県）		
ホテル菊乃家（広島県）		
川棚グランドホテルお多福（山口県）		

源泉の宿 萩本陣 (山口県)		
ホテルアクティブ (山口県)		
FAST HOTEL (山口県)		
コンフォートホテル新山口 (山口県)		
リゾートホテル モアナコースト (徳島県)		
かんぽの宿 観音寺 (香川県)		
コンフォートホテル高松 (香川県)		
コンフォートホテル松山 (愛媛県)		
コンフォートホテル高知 (高知県)		
柳川温泉ホテル輝泉荘 (福岡県)		
グランドエンパイアホテル (福岡県)		
東急ステイ博多 (福岡県)		
東急ステイ福岡天神 (福岡県)		
コンフォートイン福岡天神 (福岡県)		
ホテルトラッド博多 (福岡県)		
コンフォートホテル博多 (福岡県)		
ホテルアクティブ!博多 (福岡県)		
リーガロイヤルホテル小倉 (福岡県)		
コンフォートホテル小倉 (福岡県)		
コンフォートホテル黒崎 (福岡県)		
柳川 白柳荘 (福岡県)		
さいふ屋旅館 (福岡県)		
ホテル光陽閣 (佐賀県)		
和多屋別荘 (佐賀県)		
風がささやく離れの宿 山あかり (佐賀県)		
嬉野観光ホテル大正屋 (佐賀県)		
大村屋 (佐賀県)		
茶心の宿 和楽園 (佐賀県)		
旅館 千湯樓 (佐賀県)		
椎葉山荘 (佐賀県)		
コンフォートホテル佐賀 (佐賀県)		
i+Land nagasaki (長崎県)		
コンフォートホテル長崎 (長崎県)		
長崎ブルースカイホテル (長崎県)		
長崎スカイホテル (長崎県)		

ホテル長崎（長崎県）		
夢龍胆（熊本県）		
コンフォートホテル熊本新市街（熊本県）		
奥日田温泉 うめひびき（大分県）		
ホテル白菊（大分県）		
コンフォートホテル宮崎（宮崎県）		
旅行人山荘（鹿児島県）		
ホテル禰答院（鹿児島県）		
THE HOTEL kamoike（鹿児島県）		
鹿児島市観光農業公園（鹿児島県）		
国民宿舎レインボー桜島（鹿児島県）		
温泉ホテル中原別荘（鹿児島県）		
SHIROYAMA HOTEL kagoshima（鹿児島県）		
ホテルゲートイン鹿児島（鹿児島県）		
スパランド裸・楽・良（鹿児島県）		
ゼログラヴィティ清水ヴィラ（鹿児島県）		
松屋旅館（鹿児島県）		
ホテル京セラ（鹿児島県）		
数寄の宿 野鶴亭（鹿児島県）		
コンフォートホテル石垣島（沖縄県）		
コンフォートホテル那覇県庁前（沖縄県）		
コンフォートイン那覇泊港（沖縄県）		
東急ステイ沖縄那覇（沖縄県）		
欽山（兵庫県）		
湖楽おんやど富士吟景（山梨県）		
悠彩の宿 望海（大分県）		
いちだや旅館（兵庫県）		
吉祥やまなか（石川県）		
旅館 まつや（兵庫県）		
若草の宿丸栄（山梨県）		
おたる 宏楽園（北海道）		
森津屋（兵庫県）		
ホテルエコノ亀山（三重県）		
伊賀上野シティホテル（三重県）		
若力旅館（福岡県）		

	藤龍館（福島県）	
	ホテル門前の湯（新潟県）	
	かがり吉祥亭（石川県）	
	ウェルネスリゾート沖縄休暇センター ユイ ンチホテル南城（沖縄県）	
(26) EarthCheck Certified		
	ザ・ペニンシュラ東京	ゴールド認証
3. 旅行会社		
(27) トラベライフ		
	EX0 Travel Japan(株)	【認証会員】 Travelife Certified
	(株)JTB グローバルマーケティング&トラベル	【認証会員】 Travelife Certified
	東武トップツアーズ(株)	【パートナー会員】 Travelife Partners
	Eighty Days(株)	【パートナー会員】 Travelife Partners
	(株)北海道宝島旅行社	【パートナー会員】 Travelife Partners
	(株)デスティネーションアジアジャパン	【パートナー会員】 Travelife Partners
	Travel Hokkaido(株)トラベル北海道)	【一般会員】 Travelife Engaged
	Explore Hakone	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)ZENZEN JAPAN	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)美ら地球(ちゅらぼし) SATOYAMA EXPERIENCE	【一般会員】 Travelife Engaged
	オリエンタル(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
	Beauty of Japan Tours (株)	【一般会員】 Travelife Engaged
	(合)DISCOVER WALKS	【一般会員】 Travelife Engaged
	BOJ(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)めぐるん	【一般会員】 Travelife Engaged
	トラベル愛ランド(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)インアウトバウンド仙台	【一般会員】 Travelife Engaged
	松島	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)キャニオンズ	【一般会員】 Travelife Engaged
	ADVENTURE HOKKAIDO(合)	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)かまいし DMC	【一般会員】 Travelife Engaged
	Japan Travel(株)	【一般会員】 Travelife Engaged

	Lotus Cycle	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)日本旅行	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)こはく	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)ライダス	【一般会員】 Travelife Engaged
	チェルカトラベル(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)JTB	【一般会員】 Travelife Engaged
	奥ジャパン(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
	(株)穴吹トラベル	【一般会員】 Travelife Engaged
(28) GSTC certification/コントロールユニオン		
	Tricolage 株式会社	2022年12月取得
(29) GSTC certification/ビューローベリタス		
	国内に該当なし	
(30) GSTC certification/ビレオ		
	国内に該当なし	
(31) GSTC certification/ユナイテッドサティフィケーションシステムズ		
	国内に該当なし	
(32) 世界観光倫理憲章		
	(株)JTB	2014年署名
	(株)エイチ・アイ・エス	2014年署名
	KNT-CTホールディングス(株)	2014年署名
	(株)日本旅行	2014年署名
	沖縄ツーリスト(株)	2014年署名
	(株)ワールド航空サービス	2014年署名
	(株)アサヒトラベルインターナショナル	2018年署名
	東武トップツアーズ(株)	2018年署名
	(株)マップトラベル	2022年署名
4. 飲食店/レストラン		
(33) FOOD MADE GOOD		
	BOTTEGA BLU. (兵庫県)	3つ星 アワード2022 大賞・サーキュラーエコノミー賞受賞
	Sustainable Kitchen ROSY (東京都)	
	Ode (東京都)	
	PIZZERIA GTALIA DA FILIPPO (東京都)	3つ星 アワード2022 部門賞「調達」受賞

御料理 茅乃舎 (福岡県)	3つ星
Bella Porto (大阪府)	1つ星
Restaurant be (広島県)	
KITCHEN MANE (神奈川県)	3つ星
haishop cafe 横浜店 (神奈川県)	3つ星 アワード2022 部門賞「社会」受賞
KIGI (東京都)	3つ星
Oppla da Gtalia (東京都)	
セルバッジオ / SELVAGGIO (愛媛県)	2つ星
ロオジエ (東京都)	2つ星
ファロ / FARO (東京都)	
caferest montrose (広島県)	
ニセコチセガーデン (北海道)	3つ星
Graal (宮城県)	
日本料理 富成 (石川県)	1つ星
トラットリア ケナル (岡山県)	3つ星 アワード2022 部門賞「環境」受賞
L' OSIER (東京都)	2ツ星
BAR 芦屋日記 (兵庫県)	
伊たこ焼 (大阪府)	
お野菜料理ふれんちん (大阪府)	
能勢 日本料理 新 (大阪府)	
ザ・キャピトルホテル東急内オールデイダイニング「ORIGAMI」 (東京都)	
TRONCONE (埼玉県)	
natram (東京都)	
RIO COFFEE 神戸北野店 (兵庫県)	
Haisop café 渋谷スクランブルスクエア店 (東京都)	
La Naturalité -ナチュラリテ- (山形県)	
大阪産ビストロバル アンソレイユ・ルシエル (大阪府)	
KABEAT (東京都)	
WE ARE THE FARM (東京都)	
(34) WWF サステナブル・シーフード基準	

イケア 各店舗	メニュー：サーモンマリネ 他
きじま（みなとみらい店、新横浜店、戸塚本陣） （神奈川県）	メニュー：MSCメバチマグロとASC銀鮭の海鮮アボカド丼
ALOHA TABLE（国内直営全18店舗）他	メニュー：マグロとアボカドのポキ・ライスボウル 他
羽田市場食堂東京駅店、羽田市場銀座直売店 （東京都）	メニュー：【火サス定食】スーパー ジャンボタルタル白身フライ 定食（ご飯と味噌汁付） 他
パーク ハイアット 東京（ニューヨーク グリル 他）（東京都）	メニュー：サステナブル中トロのグリル トマトと山葵チャツネ ライム 他
ヒルトン東京ベイ（グリル&イタリアン「ア チェンド」）（東京都）	メニュー：ココットで燻したサーモン のグリル タブナードソース 他
フランセーズ・ラ・ポルテ（神奈川県）	メニュー：戸倉っこ牡蠣のベニエ〜生 ハム添え
大森海岸 松乃鮪（東京都）	メニュー：MSC大西洋本マグロと太 平洋本マグロ食べ比べ

### (35) GAP 認証

GLOBALG. A. P 800 件の経営体が認証取得	2022 年 9 月末時点
ASIAGAP/JGAP 7, 187 件の農場が取得	2022 年 3 月時点

### (36) 観光施設における心のバリアフリー認定

大雪地ビール館(北海道)		
のらくら 小町バル(北海道)		
きわき家(北海道)		
ワンダーランドサッポロ/スノーモビルランド サッポロ(北海道)		
萬珍樓(神奈川県)		
レストラン オン&オフ(群馬県)		
Trattoria CarneSio(東京都)		
分とく山(東京都)		
Shake Shack 外苑いちょう並木店(東京都)		
皇居外苑楠公レストハウス(東京都)		
麺屋 義(東京都)		
筑波東急ゴルフクラブレストラン(茨城県)		
猿島カントリー倶楽部レストラン(茨城県)		
レストラン ベリンバウ(茨城県)		

サミットゴルフクラブレストラン(茨城県)		
泉パークタウンゴルフ倶楽部レストラン(宮城県)		
関西カントリークラブレストラン(京都府)		
阿蘇東急ゴルフクラブレストラン(熊本県)		
板倉ゴルフ場レストラン(群馬県)		
ル・ベール アスト(三重県)		
パン・ダニエル(山梨県)		
農園レストラン だいだい(鹿児島県)		
桜華亭(仙巖園)(鹿児島県)		
道の駅「桜島」火の島めぐみ館 おふくろの味・旬(鹿児島県)		
MINATO CAFÉ(鹿児島県)		
十八番 春山店(鹿児島県)		
さつま路(鹿児島県)		
奄美の里(オーキッド・ティダ)(鹿児島県)		
健美和楽 花ん華(奄美の里)(鹿児島県)		
リゾートレストラン イルモーレ(奄美の里)(鹿児島県)		
鹿児島市 平川動物公園 食堂(鹿児島県)		
水族館の果実堂(鹿児島県)		
ふぁみり庵はいから亭与次郎本店(鹿児島県)		
欧風食堂 プティポワ(新潟県)		
ハードロックカフェ横浜(神奈川県)		
川崎国際生田緑地ゴルフ場レストラン(神奈川県)		
天城高原ゴルフコースレストラン(静岡県)		
底曳き割烹 もんぜん(石川県)		
大多喜城ゴルフ倶楽部レストラン(千葉県)		
小見川東急ゴルフクラブレストラン(千葉県)		
芝山ゴルフ倶楽部レストラン(千葉県)		
鶴舞カントリー倶楽部レストラン(千葉県)		
勝浦東急ゴルフコースレストラン(千葉県)		
季美の森ゴルフ倶楽部レストラン(千葉県)		
大分東急ゴルフクラブレストラン(大分県)		

	蓼科東急ゴルフコースレストラン(長野県)		
	望月東急ゴルフクラブレストラン(長野県)		
	ZIGZAG(長野県)		
	有限会社吉田家(東京都)		
	Social Café Sign with Me(東京都)		
	ハンターマウンテン塩原 レストラン「ビッグアップル」(栃木県)		
	那須国際カントリークラブレストラン(栃木県)		
	マウントジーンズ那須 レストラン「エンジョイ」(栃木県)		
	グランドカフェ(福井県)		
	ロイヤルガーデンカフェ大濠公園(福岡県)		
	三木よかわカントリークラブレストラン(兵庫県)		
	花岡 DINING and BAR(岐阜県)		
	四日市みやび(三重県)		
	石かわ伊勢店(三重県)		
	津みやび(三重県)		
	有田東急ゴルフクラブレストラン(和歌山県)		
5. ガイド			
(37) GSTC Sustainable Tourism Training Program (S T T P)合格者			
	187名		※ 2022年12月時点
(38) 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーション人材			
	個人資格のため情報非公開		
6. 脱炭素対策の取組			
(39) S B T			
	国内認定取得企業数 358社		
	国内コミット企業数 68社		
	※ 2年以内にSBT設定を取得すると宣言		